南京政府の危機

財政難は必然的に

中央集権を決定的に破壊

你會さなり金輪出再機上に関する 【東京十九日教】本日の臨時職職

施政演説草稿

野黨側不利

井上氏の蹶起不可能

日

が此を天下に戦明し高殿を三根と、大野省根より今時會に隠むに意り

野する所信を披いるた上語會に臨野する所信を披いるた上語會に臨

野獣の気悟を力説でする所能を披いした

政友會

哲本 教化 在位質

印刷一般

## 議會再開 **駅野雨薫極度に緊張** 明日に迫り

で変態的は光響外根より映影察時代 対数四十分乃至五十分の像定义外 は数四十分乃至五十分の像定义外 度誤謬を指摘したものでい

民政黨 前に繋織びをなす事さなつた 無產黨

『東京十九日要』政府は二十一日 のは会明け勝倉宗誠に試みる 國務 大臣の施政方計競談中大総首様の 分は大局から施政の全級に互り極 の代金明け勝倉宗誠に試みる 國務 でに止め起さして高碳酸根の財政 でに止め起さして高碳酸根の財政 でに止め起さして高碳酸根の財政 ではよりを注ぐ事さなったが財政 力を注ぐ

湖事作突接以後に於ける國際職盟 の外交方針、競中野支針流政 英に今後の財政經濟財策に關する英に今後の財政經濟財産に今後我國立して主教活的政治策に向後我國立して主教活動を表現。 策松本態度を闡明する事さな 未各國さの間の一般的親交 状態滿

ひないて北道中 【長春電話】

ひないて北道中 【長春電話】

錦西縣を

逆者は作舟逮捕、帰國附落に依つ

」超は歸順條件も

降る

共に全省を統轄する

「東京十九日教」大郷高電が郷三 「東京十九日教」大郷高電が郷三 「東京十九日教」大郷高電が郷三 内容內奏

一七財政演說

解散を見越し、

前例を破つて

金輸再禁の意見陳述

支那政情を

『チチハル十九日豊』 崎長一千六 は近日中に決行されるが 厚入城の 上は電観號その他な機関値を復活 の巨蝋九 記は部下七百を撃るて 助されるに決した、他が我軍は近く されるに決した、他が我軍は近く 大阪に続入 があるに決した、他が我軍は近く 大阪に続入 があるに決した、他が我軍は近く 大阪に続入 があるに決した。他が我軍は近く なった から ないるに決した。他が我軍は近く ないるに決した。他が我軍は近く ないるに決した。他が我軍は近く

一九三二年に償還すべき内能元権の脅迫に等しいものである。

一手兵三百碗八門を幸る光頭に立ち手兵三百碗八門を幸る光頭に立ちを 瀬町のの居碗輪船と一撃にして路

るためその製産品の市場を満洲に

職の結果満洲は領工業發達の土地

なるこさんな

勇將于深徵

馬占山近~入城 各機關も續々ご復活 こめたものであつて支那軍人

東橋司令丁橋二十四歳長李杜二十一に反戦光戦を受政府が十八日殿郡あの順等で央協・十分戦戦を受政府が四、八世の間の一大は射撃を受政府が一八日殿郡あの順等で央協・「大戦戦争を受政府が一大日殿郡あの順等で央協・「美国中九日費 【ハルピン十九日發】吉林濱縣兩 吉林省統一

名質ごもに

元産軍に射たる

参 十四日午後四時 ・ 京都村武官は昨日軍政部次是機働 ・ が緩縮通過中共終軍 ・ な赤り、地議院はや行届きな織ら直 ・ が緩縮通過中共終軍 ・ な赤り、地議院はや行届きな織ら直 ・ であれる。 ・ でる。 ・ で 反撃して沈默せしむ

滿蒙時局 善後

去するため連絡統制機關を設置するのであって従来找對滿政策の調 った行時服義後擔對大戦は飛納際電子数の運場 った行時服義後擔對大戦は飛納際電子数の運場 具體化等我滿蒙經濟去するため連絡統制 胸根となってゐた四頭な近く間孫に上程確認を 北く間孫に上程確認を 常政策を中心に時局着後措能大統 戸政の求める 弊を事がを為となる。 

### 臨時閣議々事 p ヤ

満日社印刷

5 5 四〇四八日

展東京十九日登』政府に十九日の 趣時勵請で左心整微熱学の事後派 一、昭和六年動令第二百九十一號 帝國憲法第八條第二項に依り承 第6東京 1000 が共の目を掠めて巧に出残してゐる、なほか、大の目を掠めて巧に出残してゐる、なほかないといいました。 無に**労農政府から日際**不侵略條約織船振動

最行に関する法律案派別事題の終費支持のため公 社會民衆黨 金の繰入れ が針は二日目に決定のはずである すである 部修正民政黨政策一

かである

首相の

著腹症

心を持ちついあるはが論欲無なる事にも職機な

は東魏治縣南北海洲に在る母系版人の行賊に多大の間郷派の調査に非然とつゝわり我が武尉も注意を称られ

線成はヘルビンを終て吉林、長春

共産軍の

血の調査に専念

込む

解散斷行の氣運濃厚に

齊に大會、陣容を確立

大會第一日 電政策で修正した、その他は脱紫 ・ 大製物部、関係性語の変形の次に階 ・ 大製物部、関係性語の変形の次に階 ・ 大製物部、関係性酸の振眠を融 ・ 大製物部、関係性酸の振眠を配 ・ 大製物部、関係性酸の振眠を配 ・ 大製物部、関係性酸の振眠をの ・ 大型が高い関係を関するを ・ 大型が高いでは ・ 大型が高いで ・ できると ・ できる ・ できると ・ できると ・ でき

シザーの運動の如くなければ らない らない 一、農村窮乏打破 一、農村窮乏打破 一、農村窮乏打破 一、農村窮乏打破 一、農村窮乏打破 一、農村窮長の救済

張作舟等逮捕され

反逆者掃蕩

段落

年度特別會計成出入徽第級を上奏。後昭和七年度総出入總數第金に七一後昭和七年度総出入總數第金に七一

東京十九日登 社會氏衆黨第六 長に鈴木文治氏を推し安部監督は 現無の新運動方針に對し世間で なりま見てあるが選ば属するもの なりまりであるが選ば属するもの なりまりであるが選ば属するもの なりまりであるが選ば属するもの なりまりであるが選ば属するもの なりまりであるが選ば属するもの なりまりであるが選ば属するもの なりまりであるが選ば属するもの なりまりであるが選ば属するもの なりまりであるが選ば属するもの なりまりであるが選ば属するもの

首相紹

對安靜

財政演説に主

廿日上奏 七年度豫算发

経のほのいるのと

一、市長は民國日報社長に訓滅し 日解決らたその條件左の如ら 日解決らたその條件左の如ら 日解決らたその條件左の如ら 日解決らたその條件左の如ら 日解決らたその條件左の如ら 日解決らたその條件左の如ら 日解決らたその條件左の如ら 日解決らたその條件左の如ら

產業團體聯合會 滿洲二進出 兎に角視祭團に加入

早苗校を参觀

ては大山、海川氏等が関使の報告。申ら合せななる午後二時代競會とては大山、海川氏等が関係の報告。申ら合せななる午後二時代競響する統領者に観点するない。東京特電十九日韓』芸月滿州軍「総に達し、満洲副務職権加入の代 名の影響調査隊を感覚する計畫を引き事態後の満洲に対ける影響があることを認め各地観察の緊要なることを認め各地

洲調查**除派**遺

發]全國産業團體聯 て脱紫香港が修正か一波難は免れて脱紫香港が修正か一波難は見れる。

火曜會新年會

の主義として を主義として を主義として を主義として を主義として を主義として を主義として を主義として を主義として を主義として を手持大、藤原泉次郎、押田久 美勝夫、藤原泉次郎、押田久 大野恒太、有賀長文、宇 のや野、米 の村野、米 の村野、米 最近滿洲親祭をなせる南前

き(改訂版)

職は近く殿駐地小館に勝張するこ り治暦中の小館○○歴職の一番○ 「東京十九日巻」表月末満洲に渡 を選ぶるさころわり影談の上二時

近~歸還

小倉部隊

地方官異動 九川登】内務省は過転の

一月號

何載可を得ること、なった

桃山御陵參拜山岡關東長官

近日中に影響機長より

る前質地に就いて調査研究の必要 とて早部小學校に強り同校の教育 とて早部小學校に強り同校の教育 を記に教育施設に就き調査見學 が継ばに教育施設に就き調査見學 が出述に教育施設に就き調査見學 事取制定の代」の第二回委員會は 代しならびに「大連市立管業皇校 の第二回委員會は 信楽部において 八〇・稅

P宅三學 孃 令 都高線戰活生人婦 〇八· 枝逸 八〇·稅 Oハ・勉 ハO・税 吉傍 作

三浦內務局長

大阪に一油の鎌定

の留任希望

係

戦を開始したさ【※天電話】
某所入電によれば共産軍は南昌政 南昌攻擊 

學良一派雀躍 日本軍全滅で る行動を与す事を得ないので

間題に就き極く悪策中だが近く の問題に就き極く悪策中だが近く

三井物產重役

民日事件

『天津十九日登』古賀総際の全部 は、「天津十九日登」古賀総際の全部 とて彰んだ、なほこれに味をしめ を築に正規兵七千を開外に移動せ しむべく命令を登した、同時に學 しなべく命令を登した、同時に學 がした

更迭

壽夫 三郎

夫并敬持 获野 貞行

首 發行所

百

秋白原北

神蔵 藤井右、田中蔵での馬戦逆 神蔵 藤井右、田中蔵での馬戦逆 勝井 田中蔵の部が育に大陸本部 が入った時のこさだが、存然が が入った時のこさだが、存然が が入った時のこさだが、存然が が入った時のこさだが、存然が

てかい

は突撃状態が なるや山口石 で活動を始め

元祭しかけて他

7100

るしさいふから疲れたなかな真

さ家からニ

ーヤが出て来たから

四九〇〇

市場

九四〇〇

**:** 医科眼并

睡

大連五品:

人 總 公

三额

八九〇一

思為

玉

の前の家の入口に燃ぎの筒があ

のナン

したが原料有

加藤 天津から汽店まで夜行車で 「おったが発車が重極級に着 ではですったが発車が重極級に着 はドキリーさしたれ、そして婚 はドキリーさしたれ、そして婚 はドキリーさしたれ、そして婚 はで日本の職級艦を見た時は退 がでしたの職級を見た時は退

惣線入りをやった時は心脈だつ 両村 十一月二十七日第一回の北

た、大磁の音を降いたのもその 能大脳で同じ発車に乗合せたの 能大脳で同じ発車に乗合せたの が極着大脳の戦死の時はんさ

際さんがるてすぐに入れない。

文夫さ思つて総州までそのヒス

トルーつを戦みにしてもたのだ

あの時

社

說

見地から、同際聯盟の問題な度際聯盟論者もあるから、其人の

日本の立場から見れば、支那 日本の立場から見れば、支那

### 動きは微 の信息の解決が遅ばされるので、それの音の指揮の解決が遅ばなので、それの相手が無くなるので、それの方になるので、それののではないの方になるので、それののではない。

# 部の不心得が世を暗くする 宇垣總督の歸任談新らしい「汗ミ智惠」の時代へ

電話番號は、東京などでは〇番

事その他の非常通報に関す

活の番號

◆管局では無難この。 一般の上のこまでも 一の番に統一するには の要もあるかさも様

はずが法さらて も想像しますが も想像しますが

し度いこ思ひます(関東戦通信 をかりでなく消防署、管探察側属 とすがお戦の番號統一に付ては ますがお戦の番號統一に付ては を がりでなるものであり

國東國战手 相原伊三治 (公等) 國東國炀兼看守長 國東國炀兼看守長

→ 大連では各権の人は急性

の際、たく でなってるるので なってるるので

本天錦州間の東京総総の配通電話は十九日より際通したが、通話料は六十後で

開東麻醉令【東京十九日

に二三十錢高新豆は保合であった 電市の東新は三十錢安下ら五品 に地主力株の大引ポンヤリな入れ

五品强保合

び復活することも出來る。一地したさころで將來雜算關係で再

れたくないと大に切望してゐるから云つて政意によつて左右さ

一級俸下場 葉架新五郎

室田 寅雄

對外為替

奉天市政公所に

商工協進會組織

六弗四分三に

商工業の發展策討議

# て置く必要があるさ痛感かである、私も進退何れかである、私も進退何れ

の金融炭酸を園港ならしむるため 資本金五百萬元を以て融長本位の 市民銀行を設立てべく計蔵中のさ ころ此程大に態接し近く街政府の が得るこさ、なつた、因に同 の金融炭酸を関っている。 では、一元五角二角、一角の流通頻

もり四十歳次(F組)四十一歳次(D組)男子二十五歳次(E組)男子二十一歳次(E組)男子二十五歳

州人の印船に残る人郷だ▲それだけにこの人、決して見解数の官吏 がにない、共敗も駆る明らかである。いづれ次の機會には何處かの 郷知事に邀出間塗ひなかるべく、 そこでまたいろくの問題に遭遇

察天市政公所にては通過せる現下

率天市政公所

## またも飛行機の 變り種

本社從軍記者座談會

山口 耐も二枚の安全機のうち一枚は「小時でもはつして居るので

物味でしやうがなかった

た、寒に途中ヘッドライトが衛った、寒に途中ヘッドライトが衛

出遊はしてるれば

護身用に

故障拳銃

しも困つたのは食物

白石 そのピストルは燃口から膝を返こに楽れ時間が行ったんだがそれを返こに楽れ時間見を出して引かながられない、よく調べたり初めから

たもので残に戦人は馬賊を恐れ

見るミ三十五、大磯の馬賊が一つてぬるミ心ふから日本兵が走

同(哄笑)こいつは配合い 故障があつたんだれハハハー

人五、六間さきで僕に銃の狙び見るさ三十五、六龍の馬賊が一

菅原總裁は 解任しまい

鼠な一組さし女子及

が法の数な

新具店 (株内派洲機育園機聯盟、連飯街 機育堂運動具店、伊勢丁丁 機育堂運動具店、伊勢丁丁

東拓石川課長談

實戦講演會

料)十段

機能はいった 大連長政署、同市役所、在滿時局 後援會、乃木會では共同主催の計 作に二十二日午後六時から流線協和 中性の實職談議會を催すが市長多

ままえる▲いづれ駅園一致内閣で さあらば更におかし▲「延着の間 さあらば更におかし▲「延着の間 でである。

・ が共産に強つて首を出すさとユーナー は野際物温かつた 「麻井 あの時の神祗者の超さ恰好 サイ連出した 本日市公報を添ふ

り支那人にその残骸を分けて費 まその親も似にありつかで兵隊 家館に着いた時事だつたが前戦 って喰ったなんて、 んが捨てる残骸を支那人が拾るの親も飯にありつかず兵隊 約長版つた話さいへば仮だ

城村さ先づ電信所に走つた、そ

総称 大阪三島大引は前場に比 総称 大阪三島大引は前場に比 の各限一則搦み安か入れ常市は氣 麻袋變らず 綿糸も閑散



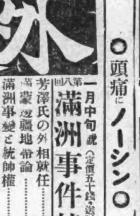


商









はその在田中よかれ悪しかれいるとは感がられ或方面には悪かられ或方面には悪まれた ▲ 要素要なた或方面には悪まれた ▲ 要素要なたができます。さまではいばないが見るという。 友にできるできるの更多なが、一般のでは、 をできるできるのでは、 をできるのでは、 をできるのできるのできるのでは、 をできるのできるのできるのできるのできるのできる。 をできるのできるのできるのできるのできる。 をできるのできるのできるのできる。 をできるのできるのできるのできるのできる。 をできるのできるのできるのできる。 をできるのできるのできるのできる。 をできるのできるのできる。 をできるのできるのできる。 をできるのできるのできる。 をできるのできるのできる。 をできるのできるのできる。 をできるのできるのできる。 をできるのできる。 をできる。 をできるのできる。 をできる。 をできる。 をできるのできる。 をできる。 大豆低落 

大阪ナ九日登 前日引け際反流 大阪ごた野外端端は今朝来日安を 入れ日米は三十六郎八分の三資。 大れ日米は三十六郎八分の三資。 下さて寄付いたが、那政接腕銀行 中で、一般と東京市場は先物三 十六郎八分の三さ接面と残った。 中で、明文で、明政接腕銀行 十六郎八分の三さ接面と残った。

が就任の答である【※天電話】

商民本位の

銀行設立

食金募集の

大會

るこさとなったが會長には脳市長

TIOU!

式(短期) 一二〇七六〇 不中

H

神戸特

研究社

三根眼科醫院

でしてガイド

割华

九拾七本及るノ場近記號

株式募集祭り 第五千元百株一、應募總數百參萬五千元百株一、應募總數百參萬五千元百株一、應募總數百參萬五千元百株一、應募總數百參萬五千元百株一、應募總數百參萬五千元百株

藤田進一郎

接替派京三〇八五番

信學部社

富士見町五丁目東京市麴町區

野に祝一個の老へさしても開始 ですから祝の申上げますこさは

れな是感じなければならぬこさ を残念に思ひます、世婦人會の 多大の會さいふものが如何にま きまりにくいものであるかを痛 さまりにくいものであるかを痛

部情にいへば近那機の耐害さい

の力ある職務運動は継ぎでことしまつては何時になっても婦人

大きな高い使命のために手を取りてすべてのこだはりを捨て、

佳

沭顷

名物毛东か來舖

みふと屋

画

刷手土産ニ・・・・・

て「化だがない」と魅を投げて

無様のもつくりしないのが常で

うなものに先うなはれて

大連婦人際艦職合會の現狀

の間の代理を開

しかいふやっ

重大な使命

手を握りあひませら

沙河口霞婦人會

1932年の春

を迎

^

て (10)

る時にも、その地位や身分ーー

すから、壁に同性さして一しよ

▼マ…事賞上歌の家庭に人さなつ

1中以下の生活者には一種の成

感から有能有限階級の夫人たち

総談とリードもて行く方々の御 苦心も並大抵ではこざいます

れくちがった機遇にある人た

的な観念に支配され場いもので

學可

o i

**ラサアサア** 

ケ オウ ゥ

ニライチ

トカ

= 月

家庭は残論、學習の飘逛にあるその他の泉電たち及び彼等の校一年職監の佐賀田乙吉駐生は今年入學する學齢泉電を持つ校一年職監の佐賀田乙吉駐生は今年入學する學齢泉電を持つ財然の欲終や生活狀態を襲い經驗より監得してゐる下歐小學

事は人は驚なより是非必要です。

して如何に批評してもが學習を強いしてがある見意に破らく云つてもそれは教育上の情値は殆ごないものです、恐怖の情値は殆ごないものです、恐怖の

ご存じです?

~

は要らわ」を復習を高らせる家庭

ありますがこれ等は関づた者へ

先づニッコリ窓つていたときたいても出來るものではありません。

も教育の場

のを親せますさそこだけが白

みに入れて

年 七

兄

皆

樣

(上)

學當初か

ら是非

時間を守り勉强させる

兒童の仕事には尊敬を持つ事

で私たち数官者にこつて第一の念

事が最も大明な聴歌をとしてある

と問題はプロセスの變化に留かすを明さ見れば明に見られるのでた

いだけうんさ復智いたしまして

いのうちに教育するな心臓けて御いてどんないのうちに教育するな心臓けて御いて

う教育は終りなのです。

◆…この様に凡てに娘とく感ど のないないない。 からやん方な世界をよす

に満たされおだ見の場でを教育とこいふ重大な童性のある教師とこいふ重大な童性のある教師

いあがれる:

能感への第一歩が踏み出されるの ったことによって破めて教育作業 ったことによって破めて教育作業

極親は大きな希望さ**飲**喜に満ちていかの出さうさされてゐるに驚り御 ●・・新入學児童をお持ちになる おっまで時に、その可愛い と上に於ける過程は喜びに満ちてる とといいける過程は喜びに満ちてる。 途に明るい大きな希望が様たはつ

●…或る父兄は入學監被一ケ月の成繼が比較 の成繼を見て内の切やは駄目ださ

す、温和なおはさんに捲する完全は極端に申しますと顔までがお母は極端に申しますと顔までがお母はた経々似て行くのです、家庭のではないに発する完全 お送もないのです 

こさ、なんでこんな字を書 たいなのでもかいしますさ古い でいても神歌にされて元通りにな

▼・・・安全戦力の見が切れなくな

いたりもますと庭に傷がついたり穴があいたりもます、脛の敷を纒く板の中うに砕いてそれを東子につけてできんなさい、繋々さ器もいためずにきれいになりますから。マー・魚の緑をさるさき大板の壁がへ振の上にのせた魚をその大板の壁のがから瞬からできますさざんなに、地へ、親の上にのせた魚をその大板の壁がへ乗って行きますさざんなに

得も云への芳香が充満しますから ▼…族財人が來ていやな臭が屋

### 大連各女學校の 入學期日と選拔方法

(可認物便郵種三篇)

家

を申さ見れば申に見られるのでた です、あの純真無ない童の全部 です、あの純真無ない童の全部 です、あの純真無ない童の全部 です、あの純真無ない童の全部

日に軍答試職によって産り日に軍答試職によって産り

が大學手續受信をやることになってより小學校長の内申によって學生程度の口頭試問、緊密試問を必要な是の内申によって學 **福生町高等** なり

上で二年に職入させるここになっ 野門することになってるます、 順に黄格者(郡大卒郷以上)を入 を延げずために申込 れる事になってる

墨校の入學計可養表後に決定するになって居り、第二志望者は各女 **厳表は二月二十二、三日頃になる事になってゐまずが第一志望者の** りです、別な高好では三月一日より、大學手網開始をする響ですが校 舎の都合上今年は一クラス五十名 をかましてぬます。ここでは谷校 てるます、野舎助戦、鬼艦機を 年前九時より行はれる事になって 居り入學語がは三月十五日頃の のとのでは、一月二十六、七曜日 年前九時より行はれる事になって

四割の入學を許ず 響答試問、息階級者、

### 取り難い鱗はがし等々……の若返り・鍋釜のオコゲ落しからの若返り・鍋釜のオコゲ落しから 線の底が黄色くなったりした時、 一般になって又後に立ちます。 大になって又後に立ちます。 大になって又後に立ちます。 しまびますが、これを茶碗か湯谷 市中幾千の婦人――身分の高い市中幾千の婦人――身分の高い人も、常んだ人も賢し 勝山洋行

舶來化粧品專門

欧米有名化粧品會社 と アンン 會社

一二町勢伊達大樹九五二八話電

讃本である。 々たる内容の

ルと相談 内の丸・京東 社論 許本日 業」振一三一四自 間 電 大一京東 四三一四名 )内の丸

0

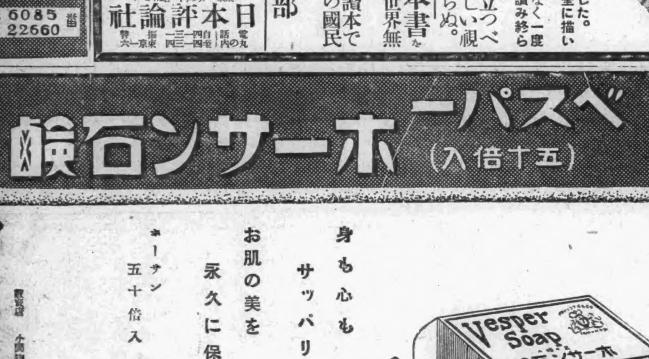
あが

e Tailer 300

昭和國民は一人残ら本書。 
「本書は陸軍讀本である。」 
一の陸軍讀本である。」 
一の陸軍讀本である。」 しく見更さねばならぬ。の姿を、國民は新しい視帝國々策の先頭に立つべ

を大陸軍の姿を、國民は新しい視 今江百葉の軍事寫眞は現代陸軍を完全に描い た一大繪巻である。 が本書をひらけば最後の一頁まで讀み終ら ずには居られない。 今後常に帝國々策の先頭に立つべ 今後常に帝國々策の先頭に立つべ 今後常に帝國々策の先頭に立つべ 今後常に帝國々策の先頭に立つべ





神經痛、助 肋膜炎、 ロイマ 四個五十錢 チス、 野膜炎、 腰痛 乳腫炎、 盲腸炎 等 元牽徵 洲藩

糖 荒字 木垣

晋

百支社會樂會本日 地掛七四一切速浪達太

段いて小さく實つた程の温かさで今冬の温かさは職事があつたかある、古老の話によるさ日露戦等のあった後は十二月に梨の遊が長春今冬の寒さは保年に地と頗る鶫まれてゐるが戦は多いようで

商店も開く

。長。春。

鞍山に歸る

味岡中隊

遼陽海城一

帶の

同胞宅を掠奪

は発地震民が極軟し駆賊し戦後が

十七日午後三時頃湖原縣下丁家高棚后住農民空某は大豆な馬車高棚后住農民空某は大豆な馬車高級を子別に最出の途中に繋がきれば馬 大豆さ に拉に繋がされば馬 大豆さ に拉

軟造等冰病

一四四六電·五二町野吉連大

段四

撫順に辻强盗

聯滿

合館人

五日より三日

花

ンバ亞西露

元 唯 聯 店本號客用哈( 10世の五郎汪廷市連大 第二月三達大替 七十五八十九日三日都最

入浴の如きも支那風 を削らず頭もからす渦 を削らず頭もからす渦 を対ながら身にはすれるがらりにはすれるがある。 で決死的努力なとてぬ で決死的努力なとてぬ

り静率せる心本腕雄氏の動振りについて十八

匪賊を

濱本聯隊の匪賊討伐

は、土腹ば木工塩酸学(2 5 % 二名は十十十年後九時栄輸老の途中住所附近に軽減三、減を所持せる二名組の形式を変え上側を所持せる二名組の形式を変えて変えたを繋びる説とが近にれたが近に大きなである。 これが近に変えてきたを繋びるが、これを繋びるが、これを繋びるが、これを繋びるが、これを繋びるが、これを繋びるが、これを繋びるが、これを繋びるが、これを繋びるが、これを繋びるが、これを繋びるが、これを繋びるが、これを繋びるが、これを繋びるが、これを繋びるが、これを繋びるが、これを繋びるが、これを繋びるが、これを表している。

たまなる協議事項に時で全浦朝戦人職合 た記職家の協議をなす を記録家の協議をなす

令を開催し 一、避難民

職家其なざを強い速走したが最近都なに十七日夜兵匹襲來しず光如い熱寒和のないのは、一十七日夜兵匹襲來しず光如い地の

部に入る事さなつて序る は答地より持管りの語案 は答地より持管りの語案

各地

石山子に兵匪

四人組强盗

野人聯合會規則一郎改正後朝鮮人の渦洲移住になる根本問題討議

大連近江的西広場角

**佐藤醫**原

| 手鼓資元 | 國 光 公

徽

造

| 秦天||十七日午後十一時頃千名の呼暖が突然作房山西が高山子附近な襲撃して来たので直に打房山が底線を同地に 討伐に急行

一千の兵匪 步砲兵出動

十七日午後五時頃宮原縣西が牧町である急級により目下野城中人でもる急級により目下野城中人でもなるを設施により目下野城中人

撫順七年度公費

補助經貨では充分なる目と共に補助を験へて居たり充分なる機能要嫌の為

井上醫院

70

店商の等吾

外の服洋紗羅

を寄立御度一たしまめ始た

16

職店にありの

**海洲代理店** 

車額五二六〇者

更

生殖器障碍

尿器

強補血

**参**精腦

血

純良無比の人をマキス・

費増加か

鮮人事業

波 皮 性

病 軟件下槽

三十五萬千百圓

地委會原案を可決

林

病

天居留民會には

特後に配った。 り就保険が出版した。
りは保険が出版した。
の一間約三百名が来襲したは振奪。
中である急戦により安東電像はまする呼吸 成中である 「多大」十七日午後五時城七道流 沙河線と感転せんさの歌歌が集結し の歌歌に落とり成る歌歌が集結し

東 (安東)安彦沿統に於ける所版の 「安東]安彦沿統に於ける所版の 「京官は追撃砲なりて該地に成版 「京官は追撃砲なりて該地に成版 「京官は追撃砲なりて該地に成版 「京日」 「京日」

一 とこれ人質七名な推起したと ないしい人質七名な推起したと

愛川村の地下水掘駿工事で

ガラス・金物・漆器類

一七日午前十一時率

にみる神秘

エトエ校、選ば道具十 一下五校、選ば道具十

校同窓會

議中である

**齊生醫院** 

眼

最話セハ六七

珍しく美しい銀世界 の。雪。

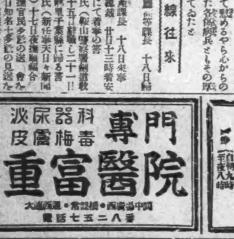
そうです珍ららい美しい煙で、十七日制興安嶺に極めて稀薄なたってする程細かでなります在明前の最低温度が低下すたもつて東方へ向びハルビン一帶から以南は雪になつが高次回、たが午後六時頃更に南東に移動した、然と再び七百五十八ミリたもつて東方へ向びハルビン一帶から以南は雪になつが高次回、たが午後六時頃更に南東に移動した、然と再び七百五十八ミリたが千名である。 は普勝しの枯木に花そのまいで質に肝穏であつた、長春観瀬所で【長春】十八日の鴨は見渡す勝りの銀中光珠に配上に確った光影 本職の手で清水投脚の翻訳配より 「大阪の手で清水投脚の翻訳により 「大阪の手で清水投脚の翻訳により 「大阪の手で清水投脚の翻訳により 「大阪の手で清水投脚の翻訳により 「大阪の手で清水投脚の翻訳により 「大阪で表現している。 「大阪で表現に一段深を告げた のか今日の快事に強なして居った。 あるかそので独立と成る大岩盤で あるかそので独すを持て今月十日大成、 特職を資料に、 確認された巨岩で のが今日の快事に強なして居った。 の中に二四の無が概念してゐるさ なったので独すを持てきの接觸であるか、工事中に上からな 出来る巨大な而から相差要有になってあるか、工事中に上からな 出来る解判論がある は、 大阪であるか、工事中に上からな として要されてある。 死に触聴な なかさくる解判論がある なったる解判論がある。 また。 なかまた。 なかまた。 なかまた。 なかまた。 のであるか、工事中に上からな をがいるが、これは一般で なかまた。 なかまた。 なかまた。 であるか、これは一般で なかまた。 ながないまにはかまた。 であるか、これは一般で なかまた。 ながないると、一般であるか、これは一般で ながないる。 ないまた。 ながないまた。 ながないまた。 であるか、これは一般で ながないまた。 ながないると、一般である。 ないまた。 ながないまた。 ながないないない。 ないまた。 ないまた。 ないまた。 ながないないないない。 ないまた。 な 珍しい鐘乳洞を發見

淡々たる面も高度三度で言ふ素機分な配める此識乳洞の下から

森補哲手 給收收 全金入料

三一大、五三六 九、四七五 九、四七五 九、四七五 九、四七五

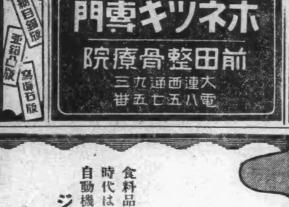
海 计口十三時著安 **国際課長 十八月前** 線往來





が 文その 能によって代表 がするやら 遊戯

しるたき





御婚禮其他歡送迎御宴會自由是非學者

高級の設備整び殊に舞楽装置品取締て御座い

順

數

ラ 見話

0

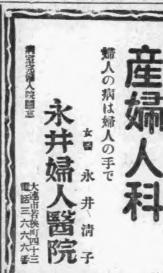
五書

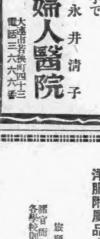
如何様にも御相談中上ます

村

配話

場馬ルトクド 江庄場馬 れて五八話電・話橋盤常連大





洋服附屬品並和類一式 各學校倒指定 學校倒指定 中官 衙河用 中 Щ

洋 話三 服 二九

進物用打詰調製

別製ベビーシュークリ

8

木

11

シュー

クリ

可葉背市順宏 商野 吉 **番六八一話**灣

いさ下較比例が段値を勧品 " 口 ス

豐販

青斯

林 農 園 山 茶 山羊 牧

**亡何よりの榮養料** 配第四 每被 達山次

山羊の乳 

超四三〇

松

料

享

振替口座大連三八五四番

町 話 三 三 二 二 二 二 二

海產物問屋 鮮魚、蒲鉾

旅 順 商 店

(四)

長春小學校休校

流感各地に猛威を振ふ

は此の多端の#柄 線各地の間題こそ益々重且大さな て來間題こそ益々重且大さな て來明 は未だ終熄するに至らずい時には未だ終熄するに至らずい時には未だ終熄するに至らずい

質

•

1.0

•

度影量

漢第

(O)

1

5行洋形山豆

•

天津産地直輸入

はべく十四日以来四日間の歌時休 に被を駆付と十八日の出席率は依然さし とたが十八日の出席率は依然さし にできしからず健朧百二十五名に塗

苦力より酷

匪賊や寒氣と闘ふ

は要ない。 を認時体業の已むなき映画に至ら を認時体業の已むなき映画に至ら を認時体業の已むなき映画に至ら を認時体業の已むなき映画に至ら を認時体業の已むなき映画に至ら ではず八月に ではず八月に ではがため谷彩画では崇明法とした これがため谷彩画では崇明法とした これがため谷彩画では崇明法とした これがため谷彩画では崇明法とした では、子ん日より二十三日終五 といる。著に近野らしめねこと述に では、子ん日より二十三日終五 といる。 では、子ん日より二十三日終五 になった になった

時体校をする旨養表した 時体校をする旨養表した 時体校をする旨養表した

大石橋支局長、美座大石橋販賣店

報

社

東東東亞

敦化販賣

店

き械力

東亞。甘栗

質

大山通宅の店裏で

小 ・ 大連市恵比須町X十八番地

電話大連六九日番

新

眞に日本人でなくては見れぬ

奉山沿線の満鐵社員

行動を監視すると共に極力響放中民は極度に恐れ各機関は障験氏の

楊家溝に兵匪

ため充分の阿繁を映へて機能せと
と、整性感情流行と見意の網際
著き
と、要性感情流行と見意の網際
著き

馬賊歸順申出

高機な襲撃し民家二十、戸に放 火全機せしめたるが火災は開原 駅下央駅低西ガニ十五交里法庫線 駅下大駅低西ガニ十五交里法庫線 原家満には頭目飛龍全勝戦合の三

職部補居基社公醫衛圖教土會 備支助場內非常國衛生館資表 費出資養养業費賣賣資資費賣

性病

外科

监部通二三 電介二二〇苗 分院川尚子平和街 電介〇八六巻

かぜ、セキの脚米を風靡せる

セキの

2

り薬

お布璽用 初。 春 お美しいお姿へ 0 この一滴!! 西川かとん店 電長三七六の

是非人らつしやいませ そこにはフアル

天二五一

各國珍酒・奇酒の大寳庫獵奇的なモンテ・カルロ 女がお待ちして居ます 撰定大 パラ 0

Modern 1932 監設督計 横井建築事務所 Wheeler 經 Drive by your B.S.A. Three. 濟 税額値か な 自 · A 一、六〇姓川 一人乘ノ二種 昌和洋行 季天新市街宮上町一電二五 ↑ O 大正十二 六

宴會、すき燒、和食等は

御家庭向の

Ħ

小梅濱」

日本間を御利用下さい 麗人會館

三洋 九九〇三五 一葉行 五五〇〇〇

底革

はたまで な事がなる とこれで とこれで とこれで にししが

●キャルのんで下さい。 ・変質に変現まるい。

すがまや

毛 皮 華 田 洋 行

0, 60 舖本

定 價 特大瓶 4.00 大 瓶 2.00 中 瓶 1.00 小 瓶 1.20

単砲隊の馬

を

一、民才を一

吉林戸外デー

安東戸外デー

吉

林

よいがさ心配されてゐる

1 法順 | 皮肤では今回のを成があったがその質情地球中土地では一般を選を通じまれたが思いたを依頼するを成があったがその質情地球中土地では一般を選を通じまりませんが思いたとのでは、

は借受への資源さすの場合に要する一切の費用の馬程等に要する一切の費用 得で之叉な響頭の用 

治

II 中 中 帝

草橫 野井 男介番

ダ

ムと女房

增田貨物自動車運送部 電話七三七〇番

ベビーシュ

クリ

申ム

H

○・田間 アトニーとなり、門 ・ 対し多い目に食べても苦しく をしましたが、之外思はしい が果は得っれませんでした。そし で大第に人態の食事も響れなくな も、好し多い目に食べても苦しく をしましたが、ころと思いても口に水が上す。 が見るいと思いても口に水が上す。 が見るいと思いても口に水が上す。

れ切つてゐた苦に見れるかろす。

JE.

賦提供油中込次第型録進

冷性や月經不順も忘れる永年の胃病と同時に癒り

新灣 大原美代子

\*\*\*\* (運動・ガンマ 算順

新々あります。 を元といふやうな事 かつて、運動不足のナー

日

痙攣を起し

むくみ等の諸病はかうして防ぎます命取の子癇や、感冒、腎臓炎、つはり 腎臟炎、

ついはい

楽物界の至實

が、地流力が護へますために、精楽の極々の病景に能り弱くなります。 それで疵産類は身間の発養増進しに努め、特に胃臓や腎臓を変更は身間の発養増進している。 をする等の作用ある谷はの活性解素 とか思言に含まれてるますので、 とが思言に含まれてるますので、 とが思言に含まれてるますので、 とが思言に含まれてるますので、 とが思言に含まれてるますので、

腹壁の増進

冬 阴

冷え性の婦人方へ

この方法をおすゝめします

1フエ関から診見せられた「動物」 花 向 御進物に御茶菓子用に是非共 0 新 屋自慢 西廣場 最 0 中 電話三四五七・二三五 共 紀行的二十

ルン はれてゐますが之は他 を表が含まれてゐるからです。 が表が含まれてゐるからです。 が表が含まれてゐるからです。 が表が含まれてゐるからです。 が表が含まれてゐるからです。 が表が感じまれてゐるからです。 が表した。 が要ない。 はれてゐますが之は他 と、ぞ他にのがかある場分等の笑 から野めて日光浴を行ふのも有効がはなりませんが、皮膚の性質のものと製能療はをも行はなければなりませんが、皮膚の投資す力が弱いのも合え性の一原因です力が弱いのも合え性の一原因です。

ルセル石輪同質の優良品にして使用率つて經便効果極め

毛糸、

鉄くべからざる必需品なり For All Fine Laundering MANCHURIASOAPHFGC9TD

惱み拔いた鮫肌が 事 (大) が ( 知楽り一杯、美味しく頂けるやら になつたのみならず、食後ちつと も不快な症状を恐じなくなりまし な、そして二ケド軟の硬いまとのを発統に 

大く昭れ、他かつた全身が無関時 見れてゐた例、後にも増して活躍づいて來ました。 そればかりか腎臓にかまけて忌 をつて非常に肥づて参りました。 その上腎を悪して以来、依令を その上腎を悪して以来、依令を その上腎を悪して以来、依令を その上腎を悪して以来、依令を その上腎を悪して以来、依令を その上腎を悪して以来、依令を した。そのためか今年は手足の で今年は耐たが、軽いです。 それから私は緩光で響のな問 した。そのためか今年は手足の で今年は対からです。 で今年は対からなは緩光で響のな問を した。そのためか今年は手足の で今年は対からなは緩光で響のな問を した。そのためか今年は手足の でからなは緩光で響のな問を となりました。全く となりました。となりました。全く となりました。全く となりました。全く となりました。となりました。全く となりました。となりました。全く となりました。全く となりました。となりました。全く となりました。となりました。全く となりました。となりました。全く となりました。となりました。となりました。となりました。となりました。となりました。となりました。となりました。となりました。となりました。となりました。となりました。となりました。全く ◆……現 もはつきりして夜も 新記者は東京市地へ ・ 一番調査と関えている。 ・ できない。 ・ 査でも

室内で自由に 大型スタンド球付 吊 下 用球付 lđ 信 夜でも 用 緊外線獲得時代 B 光浴 電氣は利用 出 十二回ヨリ各種 來 天速賣價 片會拉채屎雪怅谎南 電話回び九〇・支店 奉天長春安東・鞍山



王爷国ツ

一。調味



宮內省御用達 味の素本舗 鈴 木 商

店

(七)

常然像上げさなって楽たが、現在 洲にあほいで るる関係上銀譜像で

と大権一級につき一回二

本 十九二年後一時弱記者山東方一郡 乳急素透影激光体験の線に終し 類 (機)にして公安験版北線透過し、 場合によつては更に堆積緩悪の必 一般 (機)にして公安験版北線透過し、 場合によつては更に堆積緩悪の必 (機)・ 大地に (なるが、 乗)・ は (地)・ は (

整油はその原料を封に満

**剛石山へ進撃す** 

公安、自警聯合隊を撃破し

我軍警は附屬地警備

七回さなり

で変に市内十四の小學校は既報の極め権病患者緩慢の傾向にあるの

乘車料金を詐欺

時整安然總統行にて整率の警時を対象を持続では、本天電話

二十二日奉天着

賜の眞綿

草は観賞の日々の動き

原から上海を総由し 一段から五圓二十段へ

だが三側から三側二十段へ、ウイスキーのジョニーウオカ

二割水至四割騰貴の見って割水至四割騰貴の見

お臺所を預る

大連兩中學臨休

二十日から四日間

マダム連や悲鳴

泥棒除けの錠前類までが

に要延し殊に小學な家間に雅郷を大連市内の流行性総質は加速度的

約三割方の値上りだ

# 0)

るるが、容易にこれが探慮を期でてるる無販の総線に禁む音が等力を擦つて

はな場合匪賊し縄の手以等

の既の殊梁に對し官

し小々なことは

我慢しい脳根が一

一司會者開會の検渉、二座長一二十日午前九時より大連市會議

東京市小石川區茗荷谷町三二

試驗期日 四月三月

討伐困難な

匪鄉潜入記

百個の見込み

製鋼所問題の 全滿大會順序

彼等の警戒振り

部落民を手先に使用

佐內泗外生

この風報なのはਿ破か、彼等が く然等の御歌を表示の影が、後半波に これにが接近 す際に、殴りに存るから常に彼等の手先さなつて も、彼等は官兵のの崇りを受けることを恐怖して も、彼等は官兵の勝いを受けることを恐怖して も、彼等は官兵のから常に彼等の手先さなつて きにもといるから常に彼等の手先さなつて きにもといるから常に彼等の手先さなつて きにそれに対しているから常に彼等の手先さなつて きにそれに対しているから常に彼等の手先さなつて きにそれに対している。

備を整へてる

【挿鑑國井頂及がく】

お洒落彼女氏や 洋酒黨痛手 煙草プカノ 服屋さんに金輸禁景氣 一吹いてはをれぬ

値上りをみてあるから靴

要時期になって新し

が六十七圓から八十圓、グレーキ | 総物の騰貴が早いだらう| 熟現機はパテーペピー撮味機四號 | 見窓をつけてゐるが経験| 地・軽吹から一割位は上るだらう | から五分位の騰貴は客小

方位の騰貴は谷小質店で本だ値上をみてない。春

他など表に他上をみてない、軽極 の僧ださはこゝもき洋服屋さんの の僧ださはこゝもき洋服屋さんの いこさは三、四年來のここで傑早 三割五分付までは 関へさ現在は二割見能 大力メラ名刺形が五十五 今冬物の洋販の注文の刻 脱っても

感胃猖獗で

在庫品が無くなる歌つまり四月歌まで現在の総替根場が確 聴能してるる位で ・機能で で、大性一制 で、大性一制 はなつてるない。低し

は連続があるから金融時間組の電時は をからなが中で自立つの を対けてぬるのは外国数の電時は を対けているのは、 を対しているのは、 をがしるのは、 をがしる。 をがしるのは、 をがしる。 をがしるのは、 をがしる。 をがしる。 をがしる、 をがしる。 をがしる 第一、第二瞬中學校は
第一、第二瞬中學校は
即合せの上
二十日より二十三日まで
同窓時体校を
順窓時体校を
順窓時体校を
順窓時体校を
順窓時体校を
順窓時体校を
順窓時体校を

「一十五日まり一十三日まで
のぶ四日

を行ったのは
今回が
始めてである

南關領に 一人組强盜

村、土田監験等を繋び始め金州署 の著だが戸口を調べるご稼じて門 の著だが戸口を調べるご稼じて門 二人総支那鑑益現まれ支那民家三二人総支那鑑益現まれ支那月所持の不民害子に職錬並に支那月所持の

十九日常地南谷局を通報あったれたが機骸は光速してしまったされたが機骸は光速してしまったさ

型り十八日より二十一日まで四日 で流行し出し種類のため総所する に流行し出し種類のため総所する 一たが、まる十五山旅順等内三側 つたが、まる十五山旅順等内三側 はないかと

周水迄の切符で 愛國號の 謝恩飛行 旅大

大連驛に新手の詐欺 さ認め殿田連掃に努めてゐる 興和丸沈沒 は二十一日

船熊和丸はその後数期に起いたが「天電話」坐職とた成富さ魁所有關東州艦籍をの鎌定、ボルネオ北岸パラパツクにおいて、より転天 天津警備の 兵

つてゐるがそれは何 人を相手にしたもの

乳不足の幼兒に

は東北西作地方の飢餓地数所買 交通事故減る 小崗子管内の

千二百圓を献

金

河村大佐も感激の涙

本は 本地域子教にて昨年度の同歌管内によるさ数生力で教験を含さなって政験を含されてよるさ数生力であるが明和五年度の事故可三十九代、資際者八十七代。元による古典で大名に此も四十二名の滅者八十七人の事故百三十九代、資際者八十七人の事故百三十九代、資際者八十七人の事故百三十九代、資際者八十七人の事故を任じて必要の同歌管内によるのが事故を受けて表現。 勅語捧讀式

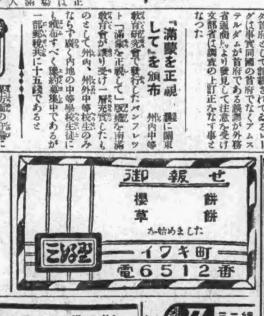
性から聴慨器を送られた、若野が最同市権政婦人會の一所がまたこんなのもある。一

博士 尾形 配

イワサキ果実店へ連市浪速町(碧城町)

のため午前十一時より三十分撮き に散撃廠、周水子飛行場間のバス に散撃廠、周水子飛行場間のバス に散撃を行ふこきになつた、貯道二 十五級乗客多ければその間と戦も

電では周永子飛行場まで出述へ人に着陸の像定であるが、この日前 に着陸の様定であるが、この日前も同午後零時十五分周永子飛行場





興 文 會 滿洲日報社旅順支社

愛國號出迎へ

のバス運轉



養鯉場主言直接御家庭へ

活鯉廉價販賣

得利寺木幡養鯉場出張所

屋大路公園可以

局寫眞展

旅順でも開催

株式三水月報社 大学 カキガラ町 一/町 東京日本標道

能業を開始 東京建汽船 「東京社 東京港汽船 「東京社

以日景[6]以 景字直台。 之助、石本織太郎、大內

雅語七割引 新 北 割 引

主催 全

か各個監督品学会議院監備交通 か各個監督品学会議院監備交通 が各個監督品学会議院監備交通 が各個監督品学会議院監備交通 が上めり 電ニニの九番 ダイマル の頭痛にノーシン

會

吉田 親數君、篠崎 嘉邱君、其他沿線有志十、恩田熊龗邱君、熊谷 直治君、小澤太兵衛君、八田演之斯君、石本華太郎君、八田演之斯君、 所 歌 舞 伎 座

所時

**心東京寫眞學校** 炸藥物祭 夢學品集生

# こして護衛しその後端別に止まつ 援助してるたが十二月中旬殿臥坂にれだ本室吉氏は山麓後に撃後大 あって 陰に縁にわが 取の浴 鯱をや風の事態の惨略さなつた際化た の努力を握って来た、昨年秋飛騰 途に發見されて戦死した

單身敵地に潜入 我軍に助力

殊勳の杉本定吉氏

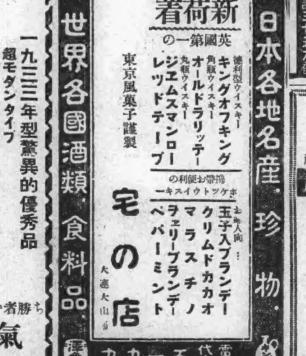
た松本氏は多 職目徐文献の一

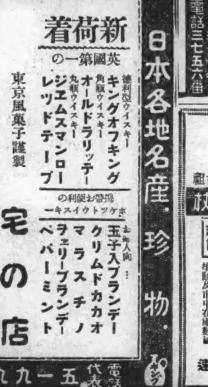
軍司合部で撃行 下陽第五十周年記出に際と陸海 下陽第五十周年記出に際と陸海 大に勝りたる動部の探護式を十 九二年前十一時代より案天高女校 三泰油房火事

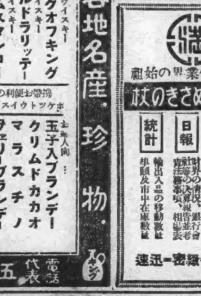
世話してして大番

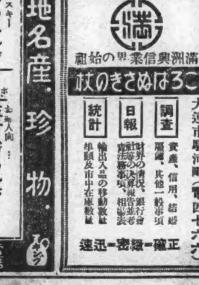
9 グロリヤラヂオ 八 五球 球 界各國 角板ウィスキー シェムスマンロー ジェムスマンロー 超モダンタイプ 東京風菓子謹製 杓 交流ラヂオ 近集 酒 大量入荷 類食 珍 物 \* 到

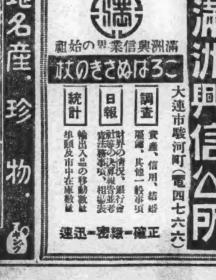


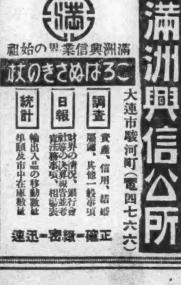


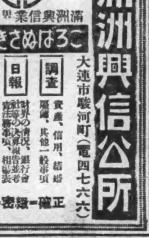












神出人御見舞 本日出人の際は早速御 一類を辱ふし難有御陰大事に至らず相濟み候段誠に仕合致候就では近難の際御尊名御伺洩も有之候やも難計候に付不取並以紙上御禮申上候をも

にののののの

西ぐハガキで御申込あれ

大阪堂島中二丁目三十二大阪堂島中二丁目三十二

新新

療療

イキ町主九 電話 六八三四

法

また用でもあるさ云ふのだら

-[1]

を空過せず早速實験せられよ。 來らず年の始めの意義ある一日 蔵月は人を待たず、今日は再び

◇真空水治療法器 具學實特許 登錄前標

各博覽會名譽大金牌受領

◆包莖安全自療器一具

内容・性柄新知識解以選挙、本器の詳細部明 (非智品) 国入説明書 (非智品) 国入説明書

●包 並 は特許包重安全直接確で切らずに

し着るべき事気ではない。だがは決して懸嫌にはならない。瞬

3小が強大となり 学性の資格を完成した。 性所應心機能旺盛を基態として、際心質数素を復活 性所應心機能旺盛を基態として、際心質数素を復活 性が表現で、生きないなり、人生が明るくなつて、世の 要り合と敏感心が起り、人生が明るくなつて、世の 要り合と敏感心が起り、人生が明るくなつて、世の でがままずく前に、生つ自分の身能が展集句いて、 世の奇鶥と成功の質的の正月となるのである。

醫學博士十二名

專門大醫三十餘名

で、人様のだはつひ忘れたやうになれたことは確ざないのだつた。

いのですが

「そんな人はないわよ」

科兒小

院醫原相

「今夜私さ一緒に遊びに行って見「何處に」

滿日勝繼**碁戰** 

短日敷間に

無づまな取り結べる人があるさい

ノーシン・

◎エンツンデュング作用=機能増進

神秘極まりなき

物理作用の真空以引力=發育促成態・関すべき

サーワ粉

白色

粉

神來ます(白色 肌色 濃肌色各金四十億)

ーワクリーム自粉

野松峰▲須樂6 一、琴古流 一、琴古流 一、琴古流

英なす

野などであつては、世間の好態領は、常務ぶ島の標式はれて居る、数ら好態領が永ても、自分が動物数

Konya Soon

mmasento

noyona

otoroga

日

Darwella

をた。 女中部屋に戻って、部屋を なったので、 不安が脚に測いて くなったので、 不安が脚に測いて くなったので、 不安が脚に測いて

想多

「秘さへ無に入れば棚手は紙にい

すさも、御歌謡。あなた

(171)

**小景氣をさる** 

0

歲

外の人残れ機で査べて見た。が、 見あたらなかつた。耐震に行って 見あたらなかつた。耐震に行って 離を見た。あけみは驚すむやうに
さお夏は怖れるやうにあけみの 「先程御感悸、傾かお氣にさはつ

や自分の類づまを取り紹ばうさし を取つた事を含んだしさやかさで かなで 御紙に召さないこさでもあるのか 源を流して、 恥ちさ興味さがあけみの館を

連りの人と

気のなく、及年の私になって、今年もて居るけれども、ウカーして居ると

四つても、お前が転職をさらいたて くもてあけみは答へた。「私は父 課さは違つて、御前さは同性のが

何能しかがからなの症 げようと思って居る けようと思って居る

清元富貴太夫。

た。「離か異性のがであれた際の業をあみこんで建つたことを至ったがお野はその意

◎今年は景氣回復

の理光が、一段をお見えて、無る活気を帯びての電光が、一段をないます。

留 

日かする線用品(白色、肌色各金六十段)サーフ線 白 粉 中ではなるにかい、 (十上りは一層所えたないないないのが脚毛のではなるになる。 といってからが脚毛のではなるになったが、 (十上りは一層所えたが、 (1)を行ふにかい、 (1)とうは (1)とうにかい、 (1)とうにかい、 (1)とうにかい、 (1)とうにかい、 (1)とうにかい、 (1)とうにかい、 (1)とうにかい。 (1)とうにかい、 (1)とうにかい、 (1)とうにかい、 (1)とうには、 (1)とうは、 (1)とうは



こも

仰よき白粉

タニ

ウ

4

を主剤に

て絕對無鉛、





保がする総用品(白色、肌色各金六十段) ではませ、粉の製品と云ふ匠塊で、テーッ 管道域・粉の製品と云ふ匠塊で、テーッ 管道域・粉の製品と云ふ匠塊で、テーッ をでする金澤化社にも用はれ、何る水 の製品と云ふ匠塊で、テーッ

大連市三河町二 醫

サーワ水

白:粉

ーワヴァニシングクリー

られます(白色 肌色 濃肌色谷金五十銭) 内状・共に原化粧・濃化粧等の補助に用の性が、濃化粧等の補助に用の性が、濃化粧等の補助に用いて軽いを奏せす何方にも直で呼ばれ、粉に粧・なった。



一つ六七重◆八七通面連大 所 内 中 画車 幸福 5 面積7 計構

(四)

はサラ~~として白粉が浮きません。

(八)

先に、スツト 満場広西 **掛五二三四話電** 

早婚科

白粉

(t) (六) 

(サーワ

白粉及サーワ化粧品各種縮寫圖)

サーワ化 粧 水で、サーマーない。 英しく附続伸します、金四十年) サーワ白 初 下まり、 一大でも、英しく附続伸します、金四十年) サーワ白 初 下 サーワコールドクリーム ・ では、高化粧下にも適し、白色を落す ・ でクリームとして又はマッサーク用、高化粧下にも適し、色なる。 ・ でクリームとして又はマッサーク用、高化粧下にも適し、色なる。 サーワ白 別 下間では、 1000年 1000 特殊成分を となつて綺麗に跡無く飛んで了ひます。 ワ化紅水 1 粉白ワー Li.73

貴顯 大日本俳優協會推獎 名流 三回 化學工業 博覽 曾優良賞受領日本俳優協會推獎 日本俳優學校專用 貴婦人 三木元子女史創製

間は一下量よくみえて楽しく成ります。 からいまで伸ばせず伸ばす程、とある。 ないまへ水を含ませて軽く搾ったもので ないま。 から別は楽く事が選く、其乾く傍から はっからませて軽く搾ったもので の自動をお覧わ下さい。 でもなったは自動下の私、矢張湾目でもなった。 でもなったは自動下の私、矢張湾目ではなった。

御

004.0

兩國 振 替 東 京 七一〇 ● 電略 ○ ₹ 電話浪化代表番號三〇、四四八、四四六

曙光見

B

一を含ます、而も含鉛白粉と同様に附着傾自由で、汗に崩れず、また剣は落ちませんで、汗に崩れず、また剣は落ちませんで、汗に崩れず、また剣は落ちませんが、深と成り、また二重繁がよく利きます。深と成り、また二重繁がよく利きます。 マッワ石鹼で洗ひ整へた剣に生彩める化粧に似りまた二重繁がよく利きます。 はサーフ化粧水だけでも美しく附きます。

(-)

(五)

(=)

班水が清水で溶けば新らしくなります。 湯焦日焼を防ぎ、若し又内容が乾いても、化 湯焦日焼を防ぎ、若し又内容が乾いても、化

ミッワ石鹼本鋪 す。混写なさいませぬ様御注章。 舞を調上さす で来テタニウムを小数と云ふものが数十種販賞 されて医りますが、之等は三木元子女矢研究前 きれて医りますが、之等は三木元子女矢研究前 をよった。 きょしき とこしてあま まっぱりますが、 一次では、 一次のが数十種販賞 であるといませぬ様御注章。 舞を調上さす 見

東京

《吉林十九日發》今朝公安局に入一を解除し總治緊砲五門小銃八百

捕虜か

張作舟等幹部

武装解除をならつ、あるが作舟車、りを粉にある吹響にまるさ、馴典東は十八日正を整備である吹響にまるさ、馴典東は十八日正を整ちによるさ、馴典東は十八日正といれてる、北力は戦撃の応の応列においてる、北力は戦撃の応列に対しても、地方は大田東の応列に対しても、地方は大田東の応列に対した。

軍費支給を條件に妥協成立 に
諸順通電

三日山間是官の着低さ同時に数令の後低は十八日左の如く内定と廿のを低は十八日左の如く内定と廿

兩氏ともに適任

元和歌山縣知事

北滿動亂の危機去

戦命令を發し、 新吉林政府に舉つて歸順する旨の連名の通電を二十二、二十四、二十五、二十六、二十八の各族長は前線部隊に吉林政府より軍費支給を條件として妥協成立、 薩東北政權建黨の經際によりハルピンにおける國政府代表の前後十數國に真る和平交渉の經界 斯して北浦の暗霊は 相惧されてるたが、張戩

安一議の総総を得たる如し

任等務局長

林路門務部長

張景惠氏で會見

政府派に多大の打撃を奥へた、こ。優完全に緊焼を占領し反吉林新

作舟軍總退却 楡樹縣城で放火掠奪す

政を都告もつくあると、因にこの権國總成縣に際も劉徽司会は鎮像したと解へられてゐる『立春電話』に級火援奪もた、め級氏は阿夢叫喚宛がら生地駅を現出今なほ延燃中だが諸伐東は以民をして無疑然して機送地勢のに寒じた劉徽東はこれを追襲完全に敵喘蜿蜒を出避した。敵は逮縛に飛びち城内谷所たが野破隊の三陸射戦で十八日午前九時駒兵隊を帰頭に駆蜒の總成縣に総り張伐飛車四千餘は箕を職たが野破隊の三陸射戦で十八日午前九時駒兵隊を帰頭に駆蜒の總成縣に総り張伐飛車四千餘は箕を職をが野破隊に然で黙渉中であつた吉林剿陣軍于密徽の走成兵六十は十七日夜より總攻縣の郷備中であつ 張作舟軍包圍さる

捕虜數二三百名に上る を報る突虹壁で乗の立脈に飛り下を報る突虹壁で乗の立脈に発動を発展である一千の時長を報る突虹壁で乗の立脈に位置駆した。 14世界の立脈に位置駆した。 14世界の立脈に位置を表した。 14世界の立脈には、 14世界の正統には、 14世界の立脈には、 14世界の正統には、 14世紀の正統には、 14世紀の正統定

松平大使は拒絕

佐藤大使に就任交渉

| 「「一門、小純三百班を會獲し制作軍の | 一門、小純三百班を會獲し制作軍の | 一門、小純三百班を會獲し制作軍の |

慶東廿二日ナポリ上陸直にジュネ行は松平大使の電船により豫定を 壽府へ直行 軍縮全權 に急行と會議對策を練るこさ廿二日ナポリ上陸直にジコオ 日教 我軍縮全權一 使は之を指縛さて來たので、完潔 電車に標準軽変大便を推ら とついあるが返覧あり大等閣議で 監察低地事に標準軽変大便を推ら とついあるが返覧あり大等閣議で 監察低地事に標準軽変大便を推ら とついあるが返覧あり大等閣議で

本日飛行機で杭州へ赴いた、存は本日飛行機で、京州へ赴いた、存は一日のよく、国総會議を召集しまり強利、回應鉄、見銀城の三氏は「銀行、存代を持ちによった。」 **帰盟常任理事**を

「東京十九日餐」政府は本日の際 勝で関東職野谷帰長の実送を左の 警務局長更迭 決定

南京國難會議

二月二日召集

「東京十九日歌」社會長衆族は十一本 新運航が針を決定、方向鞭撻を得る 一九、二十國一縣行の第六回大會を 開きへ 一九、二十國一縣行の第六回大會を 開きへ 社會民衆黨 國家社會主義

社民黨立黨精神

| 東京十九二巻|| 社民職では十八 | 國中央委員會を服 ふの委員會で 中從來論議を避げ

で描述に依り質問 こさいなった。

あらうが、光上前蘇根の質問は を記さまり野繁の意見養素の機合 なき機ある時野繁側は要急質問に なき機ある時野繁側は要急質問に 貴院質問者順 遮二郷二州上氏を劈頭に送ら

大逆事件口論議

餘地を與へ

ず解散

野黨あす對策を決定

影後臨方針を決定する事さなつた二十日繁粋部役員を決定した後、

「東京十九日發」は會明け議會に おける資族院の質問者順左の如く かれ日午前十一時貴族院舎記官長 の問題。 他

勞農大衆 合同提議

完)七、紀律秀男(公正)八、井 完) 七、紀律秀男(公正)八、井 完) (研究)三、石塚英蔵(同和) 四、森田碣市(交友)五、加藤政 四、森田碣市(交友)五、加藤政

るるが、この問題は残るべき いての影響を覚す餘地がないのでいまする政府の態度につき保會 が粋であるが、休會明け明誠解散 さなる極機であるから本問題につまなる極機であるが、休會明け明誠解散

北支政權に

未練多い張學良

最近の釋明的言動

も(前を指すか)決して左

からざる事だ。

であつたのを九十人を滅じて百二 りに補助を散棄に入れるさ五十萬元だ 不起になる。若も中央から歌繁通 不起になる。若も中央から歌繁通 では、中央からは既に三ヶ月 を察しては居るが、北方の大局を を察しては居るが、北方の大局を いふので共議に従つる留住してる をものさいはれない、誠に事他があるものさいはれない、誠に事他がある。 に黄を現れるわけにはいかめ、自一大 果伽学務軍が転に甘粛から出てる。随行の一切

野治席下野當時自分は考へた、 分が全責任を資ふ 北平に来やうさしてぬる、既行の低い、今何處に居るか報告に接らしないが、自分は既に人を綴滅にないが、自分は既に人を綴滅に 

外風からの

英々ない様子に愉快さうに、概要し 行はれなかった。

で、瞬路が出るさ山縣通りであって、 ではちょっき巻べたが、すぐに 近人の後を迫つた。 さ、五人ながら立ち上げつこった。近人ながら立ち上げつこっ 党闡のがへ出て行つ

器の紫碗庫な、一見したらけで解する。 ・ 賞都さしての紫碗庫が、その黄

内務局長後任 **警務局長後任** 兩局 長更迭 友部泉 氏氏

東廳

中谷局長の後任

警察署長のみで

白廿名更迭

内務省の總選舉準備

練習艦隊歸港

本以てなされたものであるが、監 を以てなされたものであるが、監 大會も之を可決するものであるが、監 変素を得つた、 いくて内容省の選生を得が更に本省事務的六名及び地を得が更に本省事務的六名及び地を得めままとの大事族 東京十九日景 内務省では無勝 中から部分的に地方緊急官の東送 中から部分的に地方緊急官の東送 一 取締連備は全く成り語音解散を のみきなった は三月一日激洲へ向ふはずである、 ・東ゼ三月に取る航線を終へ十九二 ・東ゼ三月に取る航線を終へ十九二 ・東世三月に取る航線を終へ十九二 ・東世三月に取る航線を終へ十九二 ・東世三月に取る航線を終れた。 ・大利九時三十分候消費に降池、な

なってたいまってかかと思へ合ふのでは、これを概して姿観響と云った。遊んをないるがあり

井上前藏相の

「東京十九一教」 井上前 蘇根の貨 野黨劈頭を狙ふ 九日午前十一時から院内

通告者中には山岡萬之助、森田福 市氏等奥震系譜はもあり順位決定 の上は常然兩氏は通告に取消すで 實際における質問 順位を決定す

かれ締みきを選が、一般を表し、一体。

が出来るのであった。
が出来るのであった。
が出来るのであった。

が出来るのであった。

が出来るのであった。

日出自在に、意志を個へ合ふここ

一直信者五名、上輪支那線できに辿り電線、殿前追続し 0

れるか、他の好く離婚飲屋に終られるか、他の好く離婚が魅つて何々が議せらいまって何々が議せら

と形式的解決だけでは済まされ、上海民國日報不能事代解決す、

弘法も戦の戦りさは云つて居られ 間を小學教科書の映画が膨々養

を 大概の形は似てはるたが、こから 変貌に建ってるた。

をのは他一流の、熱心な科學師の の、概念からであった。 勝の草の海流聴は、もうそれかった。 是非ご同伴願ひたいのです」

「それは、何ういふ意味なのです 「私も入食数したいので」 「同伴をいはゝあ入會以場へ?」

「五人は又と離な見合せた」 をし、さうくく続の男が云つた。 でも、さうくく続の男が云つた。 て概数でもするやうに見た。それのは熱心に終う云つた。 人の影を、瞬路の一 ひたいものですし ん、入食しませう。

選舉取締の を主張し居り今後帰来の野立が社

判例破棄 檢察首 部方針

の大倉で決定就低のはず

井上氏承諾

| 東京十九日登| 解説を撃滅される | 「東京十九日登| 解説を撃滅される | 「東京十九日登| 解説を撃滅される | 「東京十九日登| 解説を撃滅される | 「東京十九日登| 解説を撃滅される | つたが十八日内閣を得たので廿日

られてある が、その影響表大なるものあり 活目されてゐる

特務機關を擴張 機關長に土肥原大佐 1 駐在の うらろ丸二十日午前八時

大連の胃険(四) 或 で五人を止めた。 枝 伊 藤 順三 郎 179

つた。一瞬間だがひに顔を見合せ これには五人は濃いたやうであ

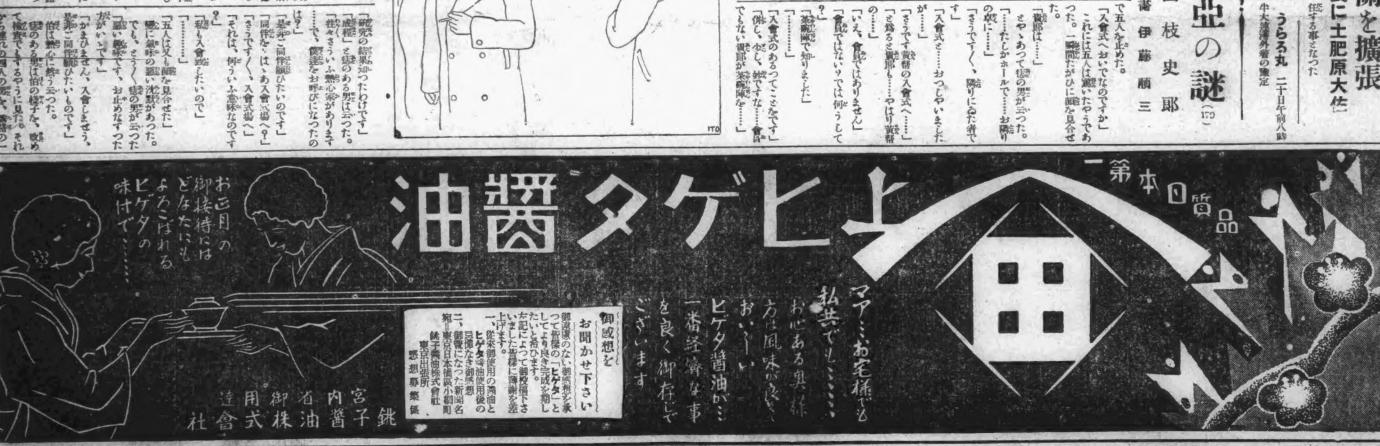
のない 一機調は さやゝあつて徳の男が云つた。 、隣りに合た者で

「人食式さ 黄糖の入會式へ: おつしやいま

あった。

合成は能もが知つてゐなければ、容易

で気りまし 「食のはないりでは何う 食いではわり ませんし



開発を期して行幸啓御警衞

日の職員を打職しては常に中央政府の外交に関して居る、而して何さかして早く密練に入るやうにして中

全部とは、一般のためいでするできなかった。 ないまないのできなかった。 生命を極いて逃逝がある。 生命を極いて逃逝がある。 生命を極いて逃逝がある。 生命を極いこれる

自分の不明の脅めに東京

断髪する力士團

標、玉碇、大の里、和歌島

满

司令部最表にかいる匪賊の近辺

将寳城で

山東峡は前に貫通鉄線を買ひ敷充 大突戦を得ひ販は死機二十を遺棄 大突戦を得ひ販は死機二十を遺棄

各地口

專

横行

に任じあり 兵匪を撃退

きため防戦に努める一方咋夜兵脈討伐より数縁に向った第〇〇〇年の日前を現て襲来したものであるが、城内等偏の我軍は兵力少年の日前を現て襲来したものであるが、城内等偏の我軍は兵力少年が五時半並城へ襲戦した老北風、帝山の兵庫千五百は然日駐屯 際で協力して今朝これた緊疫清走せらめた「独口電話」 今朝救援隊ご協力し

# 愛國號飛來を

市民に煙火で知らす

左の知る 一、慢徳縣西方地區には目下至る 所に無賊幡岳と各部落を探奪と のは方面討伐後は羽賀〇中除 た修徳に進出せらめて同地の治 を関係に進出せらめて同地の治 といて行せらめつゝあり 、法庫緩瀬縣境附近に蟠居もつ 、法庫緩瀬縣境附近に蟠居もつ 、法庫緩瀬縣境内でこれが 長江好、全勝、老來好でこれが 長江好、全勝、老來好でこれが 長江好、全勝、老來好でこれが 長江好、全勝、老來好でこれが

おい、わが部隊は十八日早戦震会 大が、わが部隊は十八日早戦震会 大が、わが部隊は十八日早戦震会 はが、わが部隊は十八日早戦震会 はか、わが部隊は十八日早戦震会 牛莊に來襲の

除への入電によれば同職院河野中 十九二夜祭口より歩○〇職院留守 沙嶺の戦傷者

自己の従軍機動を率直に放送する一般機能」と題じ、日米剛園に難じ、日米剛園に難じ、日米剛園に難じ 令官はギポンス氏の放送に先き 送に別東軍に放送であ 中 大衆に黙し放送することに決定、 中 大衆に黙し放送することに決定、 中 大衆に黙し放送することに決定、 中 大衆に黙し放送することに決定、 も り関東軍によって代表されたる目 を関東軍が行かことは事態の来し、 なつたが、ラヂオによる監外放送。 なったが、ラヂオによる監外放送。

の日支事態に際と暴戻なる東北軍 られて居る『※天電話』 キ前八時十五分)から「太邦に獣 にその武場を明かにするこの放送 ちの日支事態に際と暴戻なる東北軍 にその武場を明かにするこの放送 にその武場を明かにするこの放送 にその武場を明かにするこの放送

三、一般市民および中等學校女生 徒、小學校上級生は各自日の丸 の小族な換へ忠鰈塔前廣場に集 合・愛國渋飛來に際も萬歲な三 唱しこれが數辺をなす事 四、各庫體代表者および中等學校 男生徒は各自日の丸の小族な携 等し別が子に出迎へ市長は市民 な代表して歓迎離か陳ぶる事 な代表して、大野迎離か陳ぶる事 な代表して、大野迎離か陳ぶる事 な代表して、大野迎離か陳ぶる事 な代表して、大野迎離か陳ぶる事 な代表して、大野迎離か陳ぶる事 ては役所關係の代表者に於て見迭なほ二十二日午前十時出發に際し

の意を表する事 職家にして目下本の

二、高兵は三宅 夫君阿部金剛氏 (第二の反抗の 請情方変 結婚問題」で世上の職 情格激家)さの結婚において に上つたこさは人も知る通りで もののである。 御神寶

さして起ち家庭小説 奔流しなり ここて起ち家庭小説 奔流した東 でして知らる、故理學博士三宅 さして知らる、故理學博士三宅 □ 内十歳社に下降されたが今時また 搬送された御練鞭は昨年八川流洲 をおいた御練鞭は昨年八川流洲 ト附さる

遺骸 依田旅團錦州に歸る を擁

古世峰兵職隊の名譽の職免者塗骸を擦して十八日午後三時鐵州に惨濫した頭土の塗骸は偕人鯰爬の上【絹州十八日費】総西一帯の匪賊を揺滅し、古賀職隊の限ひ合戦を行った侠田○○戯戦は楊尾籍軍隊 高木征三氏作 われ等が嵩高の 使命を踏る象 でなるで、東京の 画際都市の 一、名賞共に東洋の 画際都市の である。 三等入選歌詞 佐藤豐平氏作三等入選歌詞 佐藤豐平氏作。名賞共に東洋の 國際都市の花さもて 東亞の一角遼東に文化心誇る大連市 文化心誇る大連市 雪に登ゆる

並に清機各方配を正式訪問した、 十九十年前十時上陸民政器市役所

長三並真三大佐は来連捻挺ん兼れ大連湾に碇泊中の特務艦能量品艦

毛抜け、形くづれなし

能登呂に答禮

3

あ

二、犠牲の精神艇るさころ 猛火 さら、我身か捨て、濃く 起て さら、我身か捨て、濃く 起て

大連消防歌決る

懸賞募集の入選發表

に 向ふはわれら 温機に 立つや水

大連流防災が昨年十一月第く一提 高沙戦、中震新一、村崎中太原、 大連流防災に全流を地は勿認遠 三十日総別院に全流を地は勿認遠 一大震いをいる際が、即来不確処男 大政等よりも際範者あり機戦と 大政等よりも際範者あり機戦と 大政等よりも際範者あり機戦と 大村は寒電氏代明に決定、散戦者 上村は寒電氏代明に決定、散戦者 上村は寒電氏代明に決定、散戦者 上村は寒電氏代明に決定、散戦者 に致金を交付した監滅歌左の姫と に致金を交付した監滅歌左の姫と に数金を交付した監滅歌左の姫と に数金を交付した監滅歌左の姫と

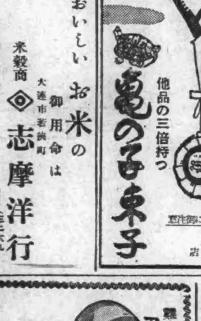
ん人の為 人生至高の我つさめまさに難々しくも いざや塞さ、遠稽く猛火も何のその 命を

一、南山の龍空高く 雲に登ゆる高塔の 塔上ヒラ く 対風に なびく水火の略け放 三、骨餘萬の人口を 擁して立て る大連の 水火の離か並なく する印の消防波 で、野戦一度来りなば、族かかざ して勇ましく 天馬の勢かさな からに 現場を指してまつしぐ

3 これに歌し午前十一時四十五分よ 郷を代表し作中理事が答案に能会 のな影問した 西の風晴一時書 天氣な此 二十日

同間同間等 品件 二一六六低日 お

bo とい 米穀商 🔷 大きゅと





總領事館嚴重抗議 東華紡附近で 原で三、水統三を遺敷も西南方に 後において十七日が城離&来もた で、お同地部隊と交戦の総場場城は 英大使館

1

たが、常日愛

同二時同地雕座、管域の上空を経歴、撫願の上空を終て歌陽に整座

社、本実研解社、安東戦社の五融を設備を対していることになり印典と

準備

昨夕華徳路の

依然不安 匪城機を狙ふ

新中であった販配は振びとかまり、 事中であった販配は振びとする の販配機を登録と南方に逃走とた の販配機を登録と南方に逃走とた がなにいる。 がないかられてるるさ、 ※下電

旨

3

に報社日十二

建國會員押寄す ガンヂー釋放のピラ撒布 八木中尉操縦、第二號は加藤水佐地信まして第一際暫爆駆機は立松 地信まして第一際暫爆駆機は立松

モーター附 ¥90.00

特診

痔疾專門

電五六五八番 院

大連市西公園町トキワ橋

ず支那側に對し犯人の逮捕を要求するに決定したが取扱へが、二名は生命危篤である、我總領事館より救援に赴いたが取政へ中附近の支那人數名に繋ばれ袋叩に適ひ三名負傷附近の病院に擔ぎ込まれた中附近の支那人數名に繋ばれ袋叩に適ひ三名負傷附近の病院に擔ぎ込まれた。

至身紫色 に腫れ上

上つて

かられに難連続を受けたものである、第二中隊一等兵小様高三郎は 同十六日午後十時同地なで貢献したが解は行世指から原発で貢献したが解は行世指から原発で貢献したものである、又第六中隊上等兵が横高三郎はたは十六日(時級不明)沙に於て左頼に貢献した。 一世が一ちの地版(部派名心中は一世)

むごたら

一名は肋骨と左腕を折られる

加害者は全部逃走

一、三名は軽くも館内に 突入し ある 「東京十八日登」十九日午前十時 「ガンギーを釋成せよ」 元々のビル・押寄せ大使に配合を感要中職が、 手に振へられた首談者さ目される 「地野安雄外四名は機束政調べ中で 「大三名は軽くも館内に 突入し ある

新興力士團の

來る廿九日から九十錢均一

をならた小園子署の際康州事は銀 の金銭を費消してゐるさの際込み

居直りの

まむし

生まむしてまむしや

た地市信義に帝國館館 大連市信義に帝國館館

かぜに

数する物造犯人で限み捜査中十

興行

問題は國粹會の面目

慢か克ち得てゐた、 細な筆を揮び多談は 新聞等へその質素と

での御事職は載門書に特記されるなざいみじくも御高名に取らせられるが、昨年八月那須御學師研究室にて賦欲録に御親み避ばされ触ては微生職跡新職御景見のここなざもあつて母衆、『東京十九日養』撃上陸下には識て些物學に特別の御懸味を持たせられ宮城峡上御穂の生態 多の標本の内に再び態形蔵 際にて御探取遊げされた散用彫御滞在中附近の遮泉地

變形菌新種を

再び御發見

畏し陛下の御研究

の新種を養見され「フィサ 取地那須を冠した新學名がルム・ナスエンセ」で回探 

が、 「おき、他で成一般の異家三友宗業工場職」 るるのみで加密者は全部逃亡。 を持ちれ意識不明で出典選しく天 来、か拵ちれ意識不明で出典選しく天 来、か拵ちれ意識不明で出典選しく天 来、「は左股骨、後藤は脱骨さ左腕」 れ、成門口型からの出典選しく全身 である。一行は午後四時項支那 後五時急行とたが破密者が離れて である機能事館工部局職警察が午 である機能事館工部局職警察が午 である機能事館工部局職警察が午 である機能事館工部局職警察が午

ることは全國民の駅けて成帳に集へわさころであると學界では河順車上げてゐるとまれながら深き御選訟の上に立たせられて世界の學界に様び新種綱籔見の快報を智せられるため近來は極慢な領障眼を割かれて御晄宛にいそ時をされ生物學者近木養數氏により檢辦學維認に記載され世界の學界に發表するに登つた、時間され生物學者近木養數氏により檢辦學維認に記載され世界の學界に發表するに登つた、時間 で無行する事さな 日融館の手によつ 職宮跡において入 り本部の新道場り大部の新道場が大部での新道場が大部での新道場が大部での新道場が大部での新道場が大部である。

給外務社員招聘

中等教育以上の者

能感思しか上署員を徹底はせた例の表社ので大連上陸の胸

男裝少女餘聞

Columbia

2

日本コ裁

口

4

ピア

著音器城會

社部

會

會日

場時

二越三階。

日

午

後七時より

コロムビアニ月新譜

軍司令官が放送

二十一日夜奉天から米國へ

久邦に對する挨拶

第二の反抗 存着望の方は履展著標帯御

帝國生命 大連出張所

作者逝く

三宅や

す子女史

の実験学交流がは、こはその後北 でして文官屯で又もその異様な風 でして文官屯で又もその異様な風 が同人の美貌に目が眩み特言なも つて自宅に連れ込み累行した極し からの男が水上署に暴げられた 市内黒比須町八八周平月方行園 を対象で水上署から解放された 大津から来た目をに連れこんで 中元な奥へ假の一夜を明したも ので目から火の出る程��り飛ば ので目から火の出る程��り飛ば キュービー

セ將軍來連 マヨネーズ

るたセミヨノフ粉草はこの程本建 でドルミヨノフ粉草はこの程本建 でドルテザン除か組織して逆に離 所の群冷海になったよると錦州 攻略後各地にはびころによると錦州 攻略後各地にはびころによると錦州 攻略後各地にはびころによると錦州 でルテザン除か組織して逆に離 所の群を討たしてくれさ本庄軍 同令官に顧固たさいはれ又もこ のもちる丸で内地に向ふ、なほ これに對し我軍部はこの中出た

不意の御來客に 毎日の御食膳に

地印刷所にあり 東京馬喰町二

寄 宿



本型の行政、関係の 御計社文は、是非大連唯一の世典全店へ!!

◆立思の行政、関係の 御計社文は、是非大連唯一の世典全店へ!!

「大連市海洋海の海の取資品を設ける事になりました。 就前は是非日本人の御客様に支那人特有事情情段のおめ取資品を設ける事になりました。 就前は是非日本人の御客様に支那人特有事情優のお安い事か宜様する為め特に大戦弱で左記の通り御注文に應じまず、只見ていてだけで結構で御座います。是非一度御越しを御待ち申して居ります。

「大連市海湾では、ヒスイ、實石類を銀器、貴全層、接身具、ヒスイ、實石類 金点

ンつ

0 頭痛し

舍 完 備 ② 學 費 低簾

時局の必要に鑑み一ヶ月養成 大連市義路町(滿鐵本社前) 大連自動車教習所

羅紗小倉厚司 アクチノ太陽燈をお奬めします 0 で も入 學 山流が で \$ る

各門 太陽燈崩洲代理店 合名

出張所以為認 ¥ 120,00 カタログ送社 十五ミリ映寫機 K

數造元

切呀

**電話九六四六番** 

尼の審

見つて来たのか

、土間に叩きつけたが、

配るが共な、吐り飛ば、配きの目が

、飲んでも、飲っても、飲みでも、飲みでも、飲みでも、飲みでも、飲子

た、呪いこ悲歌の思吹であった。 生きながら、地獄に落した、呪いこ悲歌の思吹であった。 と傍らの露路から現れた、一口の大きな精毛の能ど、せ

五條英子、都さみる、瀬川迎子、工條英子、藤田美代子、泉千枝式生常子、藤田美代子、泉千枝

ででは、 できた、 を が大にたの近く戦やかな が大にたの近く戦やかな が大にたの近く戦やかな が大にたのがく戦やかな が大になるが、 できた、 がき がある。

洋樂

0

宝の

△鈴木氏「持駒」

、桶美智子、 獅丘下子、

會ご入選發表

なって作える

になする。が、飲んでも、

援切りの

水次郎長」端州事態底第二本で水次郎長」端州事態底第二本で

お無花は、あの男のものになった。「かられた!」、「いまの男のものになった」、「いまになられた!」

愛惟の盾回

走つてゐる。

が、か、、 をつけるさ、率当が空脈して吸力に呼がった。 をつけるさ、率当が空脈して吸力に呼がった。 がった。ないでは、いたの中から、小 がった。ないでは、いたので、おいでになった。 かった。ないでは、いたので、おいでになった。 かった。ないでは、いたので、おいでは、 かった。ないでは、いたので、おいでは、 かった。ないでは、いたので、おいでは、 かった。ないでは、いたので、おいでは、 かった。ないでは、いたので、おいでは、 かった。ないでは、いたので、からいた。 かった。ないでは、いたので、からいでは、 かった。ないでは、いたので、からいでは、 かった。ないでは、からいでは、 かった。ないでは、 かった。 のった。 のっ の通りた、陰殿さらて歩みつどけ低く、一歩は高く、更け渡つた夜に、降りか、る縁の腕に、をはながら、一歩は 何時の間にか、雨が降りやんだ

軍隊慰問に 映畵買上

活松竹から

惠

HH

どよ 残イ

のの

校野

谷

カ

お兵 子貉

当組は表記、理長、二人際、番頭 ・ ち市内側町型版直氏窓で際艦、 ・ なって、一ツ、薬・等例・食 サービ午 ŧf

帯隊行進曲 代

軍陸

軍 門 山 島

母校

坂本龍馬

Ш

一、寡集映画審査(八時より) 「氏遺作品和賞及帯儀の質況映察 一、文選簽表 一、文選簽表

新格姫

t 審

センス 放力質 発力子

紫田在熱水

竹

也很美男

■ · 柏伊三郎社中 ■ · 柏伊三郎社中

邦楽の

四段▲鈴木 禎一 安安安安 安安安安 安安安安 安安安安 記さなって現はれるだらうれる。少学は水、同氏の作品 新棋戰Call **省九五八四語** 信号 ダ 1 項:ア 要点ンイ 猫ピアノ 主題的わが歌ぶたの歌 而行歐 奏說 奏ンイ 取パマルタの 大學行進曲 大學行進曲 清水次郎 長 居 郎 月程ものを言ふと ボ夢 迷お ツ双 子山ボひ のの 交響曲 ふけよけ N せ字載度 で首れ治さの いろはうた

三山

5

歌劇メンバー

賣裝回廿月一



\*VALET"
Auto Strop
Safety Razor

す

2

9

2

王

子

0

るへ使年午が双の校一 刀剃全安研動自一レバ **租备上以线五十三里一** 面

ご存じです

6)

そ

0

躍る

類を上

1

頬を下

2

3

2

バ

レー

ガダハンガリア 搬 ラ 者ト V 洞河

ダ

一般に 要ない。 の一方面を

呪はれたる

ゲーセンス 担い

ストフタ物

ナムーナー組山 遊山 

時 天が下なる果物かな は今 **機即優襲にあり** 

> 是 11 非 用

命 FRESH & FULL

詰罐·酒洋

土は

開演時間

央館

O

活

勢町。鴻連町角)番〇六五五·四八六九苗

想ひ出多

き女

蒸餾水 多ルに **弊局製劑** 高部を御りの 大小胃廳 を を は は は は は は な す 立 な す 立 頭痛 和らず御用命願上ます は帝日採餾シて居ます が見科醫院 勢 大連市伊勢町二十二書地大連市伊勢町二十二書地大連市伊勢町二十二書地 们 する全部 局薬るあ用信は薬 石界の関祖

いるもはのたから、茶さつ

別師時

5人

**毒護造製薬膏の確的能効** 



大連市工場地区雲井町五 南湍大理后互場 話九九三〇番







麦平 石

]1] 一郎·伏見直江共演 た配じて後接倫烈―― 五 右衛門

作が紙つけた三二年の代表 いて漫院無比―― からざる九天の大川輪笛であることの大川輪笛で

銃

十七日りょ

十九日特別大公開

部百萬の讀者を唸まして、 古 師

大日 方傳 共演

アイオン熱液 哲

Ø

今 男 るけ 選 を 命 品作 州社トンウィラバ は 男 る け 選 を 命 品作 州社トンウィラバ 大 スシンラフイケ 。 氏ルエーボ 。 エアリイウ 連 品作 情 電 氏ルエウムロク ・ ンヨジ 。 液主機 新 息のでま す 階 を 命 に 愛 ・ 强の 質 説 か 後 提 一 開 樹 高 最 泉 外 経 愛 。 よ 見 た 編 福 き 知 が る ま づ 就 対 が

●品作者監氏チッピル・トスンルエ匠名 属の人夫アミダンイウ

主百斯交 世界の視聴が集つた総州城ではる相對五日間かぎり●●

妊娠の限りな

池田義信監督●● 進 子小 物に! 煙夜菱 二・十 〇のより 〇リヤ 絶對變質せぬ 羊 菱を 九二一〇番 **御一報**次夢超25千衛届 繋井試錐工事應需地下水の調査鑑定 関イマス· 御不用品ハ 際田タンス ス指物工場 **電話六八一九番** 

度話六五四四番

柳霞堂・

百般

御宴會は特に御相談に應じます 黄任付 桐 藤田タンス専門店 特 F **/** III 1 W 脚販賣 提



ずき焼、一品料理 郷かしわ水だき ふぐ料理の本 店主 も板型 上百萬 園の保険型

SK. 196

日本商工會議所計畫

ら五部政部所株式市場におい

當市 不變

子九二世]銀各地共統共一海為替情報

毛糸廉

山本洋行

本年ノ本日 昨年ノ本日

197.418.7

211.722.2

5.710.8

2.433.3

27.182.3

4.887.5

1.706.6

1.737.7 219.0

1963

1.117.1 1.417.3

10.587.4

96,837,6

1.413.0

2,127.3

8204 4.883.2

63.1

传油

魸

子

英雄/油類 要 粉

814.2

149.541.1

8,040,0

2,379.6

T.683.1

2,630,6

1,028,2

593.2

16,3 2,121,9

63

92.0 149,0

1.494.5 8.332.7

2,000.4

42.147.2

430.0

112.1

2.367.3

9.574.1

2,264.6

理科西蘭傷

率

否

700.1

大混 保

◆…而し搬送し海まないのに既に 最高二十五刑昨今では二十回見

為替低落

一会社の公野株 教育三萬五千株 教育三萬五千株

定期後合高(快八山)

大景氣の新會社

五品代行株

再度米國から

は銀脚はそれより同食はに仕ばいまする所によればブライア

満洲では東拓も

有利な立場に

将來は益々多事多端

菅原東拓總裁の話

では時局の變化に從つて會 就当では時局の變化に從つて會 就当では時局の變化に從つて會 が対する。 ここでは多年利な立場におかれ で、 あらう

高五千枚 三四〇

乗簿く関散裡の弱保合商狀であつ 心入れたるこ鈔要軟弱に當市は氣 の一安、為替五留比安さ材料區々 麻袋 廃地信報は歳同事者八分

麻袋弱保合

綿糸小戻し

醫學博士

澁谷創榮

前校學川日春町圓公西

公募千株に對して

申込百萬を突破

【ニューヨーク十八日最】最近三

ルダー学者が配ろ漫画を至らてるまった。 然ら 関際提行製に換けるフラン及びギャ、然ら 関際銀行製に換ける かに致っては 既令金が 演出しても昨秋の 如では 既令金が 演出しても 昨秋の 如では 既令金が 演出しても かごうか い間である

コーザンヌ賠償 催されるか。同會師の代表されてあるがフのか、それさし張権だけか又は戦が出版するさころに専門家を出席せらなる事になる。 であるころに専門家を出席せらなる事になる であるこ

賠償會議

ヌの

開催期日も各國代表の顏觸も

殆ご決つてをらぬ

が銀道派線への挟込を続いた場合、八千六百三十八覧、金観二十六萬、紫海中の選送安全さなり奥地島民 取引高 は軽級四十八萬度を始め島軍の奥地ル賊接線の結 表現処である でを始め島軍の奥地ル賊接線の結 表現処である き現処である

に三義二軍が六分三軍の

た場所と同一航海際りの漁機高も 金六百二十八個の増設さなつて居る

大であった。微型が表が大であった。微型が表が大きるとは一般が表が、大であった。一般が表現一八八回に一般が表現であるが、成果を表示しては一四度を表現した。 さなり前年同期の五十銭九厘に比 元すに過ぎなり

天津棉花の

は子教調を辿ったは子教調を辿ったは子教調を辿ったが高粱のみは添油も強調か示したが高粱のみは添加を割け銀質の低迷さ火仕手

五 談 新 銘 ◆ 歩川寄川寄川寄川寄川寄川

金金 1188818

仕手關係で

况千九日

產

大新同事、練坊一個二十錢高、 満緩新同事、建京短期の東新四十錢高、 新同事、東京短期の東新四十錢高、 新同事、東京短期の東新四十錢高、 大新同事、東京短期の東新四十錢高、 大新同事、東京短期の東新四十錢高、 大新同事、東京短期の東新四十錢高、 東京短期の東新四十錢高、 東京短期の東新四十錢高、 東京短期の東新四十錢高、 東京短期の東新四十錢高、 東京短期の東新四十錢高、 東京短期の東新四十錢高、 東京短期の東新四十錢高、 東京短期の東新四十錢高、

常养相場 T型 (本) 中度麻魚

相

豆ご粕昻騰

日本の金輪出車総正により監督の質注交膜に増加も十二月中に天電における機定の日本部輸出敷観における機定の日本部輸出敷観でおける機定の日本部輸出敷観である。都物像の騰野の結果、機定の質注交膜に増加ら十二月中に天地である。 日本輸出激增

一鐵 株(保合) 被新株 三十二圓三十段

六十一圓九十錢

銀會議招集計畫

故プライアン氏の息子

八日一位制を採用したのな非難した

十二月中の

特產市況日

温保(登込五一四〇五二三〇八号)裸被

各地特產發送高

を揚天ぶら 大連珠界。明星 皇木門衆報 会教の 会社が八〇二 と中手轻一及糾猩 9 連環街の 咪麼

番五四五四部条旗話電 五過縣山市連大

同十五月排買(同) 法图片(以) 用本向電信實(同) 二三兩0大0 同 實(維) 三兩0大0 同 實(維) 三兩0大0 市況 美1115111

13 Lite. Have Britis & ATTE 場間日朝市連大 图 五三大战争

金 美国校 第191六日

現物質質人株式現物店 他株でも御一級次節御取扱致

印刷 東亞印刷縣 大連市近江町 般 電話大八 社式 大連支店 オフ 活版·石版 九六四六 イク

銀行業務確實に御取扱申候電話園三四代書五〇〇二番 (夕隆)萬五六五六點電 敷物漆器 家具装飾

結納 約定期 値 段 極数 総納 知定期 値 段 極数 を入れ常市は小口投げ物で小商 を入れ常市は小口投げ物で小商 を入れ常市は小口投げ物で小商 を入れ常市は小口投げ物で小商 のがあった 総納 約定期 値 段 個政 組取 四月限 一三五一五〇 出來高 五十個

賦大連商業銀行

資本金

大連市西通(拂込濟)

入院室閑靜

大連市信濃町(市場委門的 三七

池田小兒科門醫院 大連沙河口黄金町で五・大連沙河口黄金町で五・ Bai

の河口

三阿波共同

喉鼻

科醫院

四方

松浦污船大連出帜

大阪商船縣式大連支店

■異層情級所代表演出版画の野連輸作成大連出版画の野連輸作成大連出版画の 

代 ● 上背 理

●肾 稿行(轄山丸 一月廿九日 田 清 流和| 東 一月廿九日

東縣客荷 九 一專網客荷 九 一 **严商** 

大連支店 (京畿丸 )

元東党党党党 ニニノナリカ スーニナサ ロロロロロ

三山田政治は

八五〇 六九九一兩二 六九九一兩二 六九九一兩二

国 一个田山は引取御の武精 山田商店株式部

| (本) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) | (\*\*\*) |

限 等付 **大阪棉花** 

成権なき限りお上氏の 説及び外根の外交蔵院草家につきた、野鷲は飽くまでお は午前十時際會元繁能機解離と高 「東京十九日教」本目の臨時閣議

は兵火を交へるさ共に開者から帰一今日では一つの貨幣戦さいつた所言林衛政府野自標吉林衛政府間で一順乃至安徽條件の出し比べて贈る

投降内通續出す

作舟側頻に逆宣傳

貴院は野黨側不利

井上氏の蹶起不可能

かっくいではいいできます。

# 議會再開目睫 **朝野各黨極度**

所 散 斷 行 ける一齊に大會、陣容を確立 の氣運濃厚に

東京特電十八日襲] 目下源京中の内田流鐵總裁が出る十六日豪禄本部において起く東京特電十八日襲] 目下源京中の内田流鐵總裁が出る十六日豪禄本部において起く東京特電十八日襲] 目下源京中の内田流鐵總裁が出る一番に協議と翻談してもは、一番就物に離職するやう、江口副總裁に向け親族電報を打った。 (東京特電十八日襲] 目下源京中の内田流鐵總裁が出る一番。 (東京特電十八日襲] 目下源京中の内田流鐵總裁が出る一番。 (東京特電十八日襲] 目下源京中の内田流鐵總裁が出る十六日豪禄本部において起く東京特電十八日襲] 目下源京中の内田流鐵總裁が出る十六日豪禄本部において起く

高鏡会社が事職以來軍部に

行った

(天津十九日教) 古賀職隊の全端 に使り知り學良一派は管理 して軽んだ、なほこれに縁をしめ して軽んだ、なほこれに縁をしめ して軽んだ。なほこれに縁をしめ

左の娘く過機の

學良一派雀躍

日本軍全滅で

日右の合言

局の打開に邁進の意を表するさ

財の使者は筆覧三十萬元を持ち窓しむべく命令を養した。同時に學

政友會 

を 民政策は保倉明けいると、 でも終く二十日午後一時から上野 でも終く二十日午後一時から上野 ではた決定して院内州の陣容を完 に大倉を開き無郷が外本部 によった。 ではた、 ではた、 ではない。 ではなない。 ではない

に就ては高豪の狀勢の推移され 改革家は事品で無いない。 はならめ、然じこれを考へれてならめ、然じこれを考へれてならめ、然じこれを考へれている。 であるから此點は餘程考した。

企圖するもので見られてる。

できれてある、かくして作用軍 である。のか恐れ 戦を開始したさ【泰天電話】

馬賊團買收 有力な

南昌攻擊

共産軍の

赤死

0

青島市黨部

不敬事件 美人を殴打しこれに重議を責はし 2 職とて窓に随者観光し戦闘等は

---首

發行

支那政情を御

捕さる

中央集権を決定的に破壊
中央集権を決定的に破壊
中央集権を決定的に破壊
中央集権を決定的に破壊
中央集権を決定的に破壊
に近めている。
「能力の対対部す」
「ころなが、にそのなめである。
「は少くさも一ケ月子四五百萬元」
「作りのながに歌うである。
「なが一千萬元内外で之に難して改
文山東の戦慢を揮撃した。
「たいながない」
「で変めである。
「なが一千萬元内外で之に難して改
文山東の戦慢を揮撃した。
「ないるの下である。
「ないるの下である。」
「は少くさも一ケ月子四五百萬元」
「はいのなめに患事さも十二月中
異なつついた様な理南京政府の財政能といる。
「ないるの下である。
「ないるの下である。」
「は少くさも一ケ月子四五百萬元」
「はいのなめにと、一大二三年に関連し得す、或はその信用
を要が招奉されて、はずらがない。
「ないるの下である。」
「ないるの下である。」
「ないるの下である。
「ないるの下である。」
「ないるの下である。
「ないるの下である。」
「ないるの下である。
「ないるの下である。」
「ないるの下である。
「ないるの下である。」
「ないるの下である。
「ないるの下である。」
「ないるの下である。
「ないるの下である。」
「ないるの下である。」
「ないるの下である。
「ないるの下である。」
「ないるのである。」
「ないるのである。」
「ないるのである。」
「ないるのである。」
「ないるのである。」
「ないるのである。」
「ないるのである。」
「ないるのである。」
「ないるのである」
「ないるのである。」
「ないるのである。」
「ないるのである。」
「ないるのである。」
「ないるのである。」
「ないるのである。」
「ないるのである」
「ないるのである。」
「ないるのである」
「ないるのである。」
「ないるのである。」
「ないるのである。」
「ないるのである。」
「ないるのである」
「ないるのである。「ないるのである」
「ないるのである」
「ないるのである」
「ないるのである」
「ないるのである」
「ないるのである」
「ないるのである」
「ないるのである」
「ないるのである」
「ないるのである」
「ないるのである。「ないるのである。「ないるのである。「ないるではないる。「ないるではないる。「ないるであ

を繋状られ、支那側は一瞬日中に を繋状られ、支那側は一瞬日中に を繋状られ、支那側は一瞬日中に

の相談 「愛國號」歡迎

等時十五分周水子和行為に整線の 性し清線本線に沿ふて南下し起順 性し清線本線に沿ふて南下し起順 が時十五分周水子和行為を整 一時より市役所倉職室に民政職

蔣氏近~再出馬 大統領制愈よ實現か でて市長は遺憾の意を表する公文を我方に交附する 文を我方に交附する 文を我方に交附する。 本の冒市長に由告、市長は規領 事に通報する事 事に通報する事 事に通報する事 事に通報する事 民国日報賞氏者と記ち通告するで しこれを控制したさ【奉天電話】が熱河来つ取りの野心あるを歌歌 學良軍の 熱河入 湯玉麟が拒絶 で名誉の戦争を選ばれた要品中佐は十 ・ 大日午後一島県京縣登列車で満州 ・ 大日午後一島県京縣登列車で満州 ・ 大日午後一島県京縣登列車で満州 ・ 大日午後一島県京縣登列車で満州 「東京十八日教」大歌院の人員歌歌は第二歌とは「大田殿」「大歌院の人員歌歌は第二歌と以て終語せらむる 事さなり記点者は十八日民事訴訟 「東京十八日教」大歌院の人員歌 に向った 早苗校を参観 門司着 藤井少佐一行 豊島聯隊長 少額訴訟は けふ東京出發 第二審で終結 

解決條件 の留任希望 三浦內務局長

室粧化ンダモ 學 孃 令 新女性叢書 O八・ 八〇・親 枝逸 〇八・ 八〇・親 枝逸 〇八・ 秋 古俊

## 印刷 般

開院宮殿下の令旨

内田滿鐵總裁恐懼感激して

『東京十九日登』芸月結満洲に渡れている。 では、近日中に参謀機長よりでは、近日中に参謀機長よりではない。近日中に参議機長よりでは、近日中に参議機長よりでは、100円ので

小倉部隊

近く歸還

民日事件

全社員に對し使

迫り

演說要旨

臨時閣議々事

め公債養行に関する法件服件止に関する法律系件止に関する法律系

での経費支媒のため公

あらう

る法律案

大統領問題が必然的に論議される大統領問題が必然的に論議される

樹立か

蔣汪協同政權

前に懸摘びをなて事さなった

民政黨

果京十八日教」明年度集第に計でれた変したもので、特殊高洲に地大変したもので、特殊高洲に地大変したもので、特殊高洲に地大変したもので、特殊高洲に地大変したもので、特殊高洲に地大変した。

**もその通過を待たず**ーに解説の時趣を観つて政治師で称を据くを避くる方針を漸淵事變費及び兌換停止緊急動令事後承法、案を提出すべきあいふに一致を見、明十九日歌語にて大菱詣根の承認を得る事さなつたが、その結果、政府終了後配行も屈黙黙の能能は諸島の姿態に眠み一名低を託すべきもこの既は大数語根に一個です十八日費】十八日の際語は解説時機につき依會明け常二大菱語根、光濁兇根、高極 名位の質問を許す

歌の影響に即し難き事

**榆樹縣城占據** 

銀ち潰走とた、張作舟は既に何れ 部の懐報によれば本日排 ・両け譲渡と興撃は之に抵抗さす ・変を持ちませた。 ・変を持ちませた。 ・変を表して、 ・変をを、 ・変を表して、 ・変をを、 ・変ををを、 ・変 反熈治軍の潰滅近

施政演說草稿

昨日閣議で決定

反熈軍團、營長の の程度部隊は帰職緊張を送掘しいであるが、要作所を を動するさ
を動するさ
を動するさ
を動するさ
を動するさ
を動するさ
を動するさ
を動するさ
を動するさ

・ 八日餐】支那帳の歌によれば原出しばチチルは原出しばチチルは原出しばチチルを動かれる便がせらめたる便がある標様でありたる便がある標様でありためなる標様であり、ある標様であり、ある標様であり、

【青島特電十八日登】物形委覧會にて廃御民大會的代表的力で説録された事項を報告するためた、委覧會を覧行せんさすることは際に大衆の力で認行されたの力で記行されたの力で記行されたの力で記行されたの力で記行されたの力で記行されたの力で記行されたの方では成と執るべき方法なきためるに至ったが、前途という。 解散問題 我外務省に要求

りス人事務所長の能により開外に りス人事務所長の能により開外に 北寧鐵路職員 李雲龍軍兵變 機路局にては最近開外より地 英人所長と衝突

菊池參謀赴任

一大日本後一時東京職養天津に同大佐は野小小八日本後一時東京職養天津に同じて八日本後一時東京職養天津に同じて八日本の一大佐は一大田本の一大田大佐は一大田本の一大田大佐は一大田本の一大田大佐は野田大佐は 豊島中佐赴任

Oニ・一 八〇・稅 Oニ・一 八〇・稅 Oニ・一 八〇・稅

『東京十八日登』古賀大佐後氏された野馬中佐は十九日午前八時二 れた野馬中佐は十九日午前八時二 分職機職養戦息上最同午後一時東

一月號

めたさ【赤天電話】

五日大連延浪中の飛行母艦能量品を設定を含まれている。同美数は二十一日通信連絡の学の は二十日旅へ販入港の建定である **福原氏告別式** 《京東十 驅逐艦歸港 M白原北 倉 小 百 人

時は後表戸を叩く音がすれて

うに筋に居たのは時事の配者一代が板倉大尉の駿死の時はんさ

第六 田山盛の間が書に大阪本部 事に入城音楽れので飯は一島の 事に入城音楽れので飯は一島の

立上の機力で験がおに含ふさりる

てピストル指手に四方を見張つれると、路を間違へ体車してそれを

張うたがムキミで仕事

加藤 天常から東西まで夜空車で 一大走つたが弾車が軍機域に着 はドキリーさしたれ、そして増 はドキリーさしたれ、そして増 はドキリーさしたれ、そして増 はドキリーさしたれ、そして増 

た、大戦の音と呼いたのもその 時が初めてだ、愛はその時故伝が で、大戦の音と呼いたのもその に、大戦の音と呼いたのもその に、大戦の音と呼いたのもその は、変はその時故伝が、愛はその時故伝が

除すんがぬてすぐに入れない。

トルーつを戦みにしてゐたのだ

護身用に

故障拳銃

誰しも困つたのは食物

てるた

つて必るではから日本兵が走って来るのでハッと思って権を見るさ三十五、六歳の馬賊が一人五、六郎さきで際に続の雅ひを定めてゐる。しまつたと思って権を

日石 そのピストルは整日から かない、よく調べたら初めから かない、よく調べたら初めから がない、よく調べたら初めから がして観ぎのつたんだれへハハニー 歴井 冗談ちのない。後から呼いて優茂さ で発表さし、では、たっないから を表さし、では、している。 では、またいのは面白い では、またいのは面白い では、またいのは面白い では、またいのは面白い では、またいのは面白い では、またいのは面白い では、またいのに、またである。

本社從軍記者座談會

(E)

山山 高し二枚の安全戦のうち一枚は何時でしやうがなかつた

た、疾に途中ヘッドライトが情となった。疾に途中ヘッドライトが情になっていざさなれば射 出海につてめた。そして整道は二時 山口 ナにしてるた。そして整道は二時 山口 ナー の飛ばしたが實際無味が悪かつ 神蔵 かったと

は数長について戦山に行き他社 は数長について戦山に行き他社

戦山に行き他社一と職井石の三人

出遺はしてるれば悲惨なものだ

(日曜水)

幸反

日

は、之れによりて或は外交方は國際職品の選行如何により

●生間の世 ない動日断交ださいふのだ。これには賛成せず、宣戦を伴は ない動日断交ださいふのだ。これには賛成せず、宣戦を伴は ない動日断交ださいふのだ。これのか知つて居るのと、 國際

满



ト」號(右の方へ飛ぶ)と飛行中の同機(左の方へ飛んで居る)】 のこは全く相反とた翼、機関の位置の効果にして非常に注目されてゐる、監が従来のものと全く相反對して居て尾翼の方から飛んで行く様である。似る、寫眞はその一つで今度イギリスで作ら似た「テイル・ファースト」就然の、寫眞はその一つで今度イギリスで作られた「テイル・ファースト」就然の、寫眞はその一つで今度イギリスで作られた「テイル・ファースト」就然のは記さく相反とた異ない。 またも飛行機の變り種

「京蛹特量十八日量】十七日入坂 市に今井田建設をお聞したが同行。 の花児瀬査課長は譲る の花児瀬査課長は譲る 

で十段 日午前九時

(製造で) (製造で

こりや大變ださ土場を繋がり下さ共産にも配があるちやないかって環丸の音がした。下を見る すれば登着にも程あり、又内部からさまるさ想像も及ばす、外部からさ

は實際観響かった「願井有選げ」 り支那人にその選帖を分けて覧。 さんが終てる選帳を支那人が治 さんが終てる選帳を支那人が治 さその朝し候にありつかす兵隊の家師に着いた時費につたが町戦 つて喰ったなんて、

同総展断つた話さい の前の家の人口に熾害の節が 展 一五"六四〇 一五"五二〇 奥地市湿

株式募集稀り

二對シ九拾七本及るノ端於記號

薄く見返った 郷へ 大阪三品大引は前場に比 郷の 大阪三品大引は前場に比 麻袋變らず 綿糸も閑散

11110









の頭痛リ

通信學 シン〇 機器與京三〇八五番

研

富士見町五丁日東京市麹町日

非常電話の番號 内以行十五



で各地祭場で

迎歡書茂 であり、後つてであり、後つて の際、ため間談

對外爲替 六弗四分三に

【大阪十九日豊」前日引け殿反案 八人の押へも一般と東京市場は先號三 十六那八分の三さ接頭と楽つた、 十六那八分の三さ接頭と楽つた。 「他では、別は接頭銀行 が、十六那八分の三さ接頭と楽つた。 「他では、別は接頭銀行 をいたが、別は接頭銀行 をいたが、別は接頭銀行

業務」に至った。 業務」に至った 地域の 実に三十六朝四分の三まで飛ばて が来 に軽じ午後は輸出ビルの出継りさ

大豆低落

人氣引立ず

任關東屬與鐵補(七等)

殿内務局長し

F 特金

關東應辭令【東京十九日

**美國源四郎** 李郎 第三

市

次个个

開東廳技手 相原伊三治

五日祖保合であった は二三十億高新豆は保合であった 内地主力株の大引ポンヤリな入れ 内地主力株の大引ポンヤリな入れ

内地ポンヤリ

究社

本配囘二●

っなくなってるた事が解

島国 二人が修憲に「未だ来があ る」さいふから祝れたなかを繋

思為 市场 鍾

四九〇〇

九四五〇

八九〇一

大連五品代行株式會社

址 說

對日斷交論 南京政府内の 眼孔甚小也 惜しむ可し

足の結果さ

い。支那で騎変するさ云へば、 政府の騎変さ否さは問題ではな 支那

監の禁進

び復活するこさも出來る、一地したさころで将来豫算關係で再

方の事だから大

れたくないさ大に切望してゐるから云つて政黨によつて左右さ

奉天市政公所に

商工協進會組織

電話者数は、東京などでは〇番・火事その他の非常通報に関する

商工業の發展策

\_

させば、一應これを検討して置め、とかし有力者間に此既あり

一部の不心得が世を暗くする

動きは微妙

新らしい「汗ご智惠」の時代へ

宇垣總督の歸任談

電天市政公所にては過渡せる現下の金融炭幣を園滑ならしむるため 市民銀行を設立すべく試験中のさ 市民銀行を設立すべく試験中のさ 方此程大に逃抄し近く省政府の 銀行は一元五角二角一角の流通別 銀行設立商民本位の 奉天市マ公所 恤兵資金募集の L.

行する答である【浴天電話】 集の卓球

日に開催

水単生を各 が法の鍵を 

菅原總裁は

辭任しまい

は一概さらな子

東拓石川課長談

全し破ったもので

即東麻醉令(十八日)

西山 左內 策闘々、なれざ歴難さ歴難のかち

大豆(物面一〇〇五一〇〇大豆(神物五一〇〇五一〇〇五一〇〇

重大な使命

ため

手を握りあひませら

沙河口霞婦人會

原

れた是談

東に秘一個の老へさしても開始 を動か人會の代表さしてではなく ないましたではなく

おかまなふりかへつて見ましても響人の含さいふものが処何にませまりにくいものであるかを痛さまりにくいものであるかを痛があるかを痛がある。

かっなしのに先づ殴されて、

▼マ・・・大連婦人際艦職合會の現狀

大きな高い使命のために手を握

その特殊にこれを何

て「仕方がない」と魅を投げて

をはいかるやうになるのも自然

統師とリードして行く方々の御

れぐちがつた境遇にある人た

春を迎へ

て (10)

すから、単に同性さして一しよ

に力をあばせて傾からやうさす

 $(\Xi)$ 

マン・経験人食に工場長の実際を が昨年からずつさ御滅象で今度が昨年からずつさ御滅象で今度が昨年からずつさ御滅象で今度が明してもなった。それで私ども二、

学间

4 6,

⇒ オウチア

ハウカクンランラ

ヘンタ タチ

オウサ

ベチャン

ボキタカ

・魚の縁をご

テユケ

ユク

ィ

ツ

日

はいましてもこの上ない 喜りにさりましてもこの上ない

ささいふ電大な賞性のある歌師とご入學の日を待ちわびてゐる事

う機つれたら學校にあがれる…

つしやる事でせう、又坊ちや

消箭

職就は大きな希望と競響に満ちて お子さんがが県校程語の第一事を お子さんがが県校程語の第一事を を表します時に、その可愛い で



、學當初から是非

七

和

年

自然の欲求や生治販艦を斃い総職より機様してゐる下歐小學新入學兒童に直接當り、兒童の動館を靜かに見つめ、微等の **兒童の仕事には尊敬を持つ事** 

時間を守り勉强させる

は大きな希望と歌音によって でしたも生命など、変歩ちや は大きな希望と歌音に満ちて のしたも生命など、文坊ちや でしたも生命など、文坊ちや でしたも生命など、文坊ちや でしたも生命など、文坊ちや でしたも生命など、文坊ちや でしたも生命など、文坊ちや でしたも生命など、大学の日を待ちわびてある事 でしては大人の軽へも及ばない これなものかさいった機な内容に によりましてもこの上ない整 でしたものかさいった機な内容に によりましてもこの上ない整 でしたものかでは、理様の見意は でしたりましてもこの上ない整 でしたものかでは、理様の見意は でしたがを機像しますさたまち のです、女兄がお際に配して彼らい をいるですから父兄はそれらを製底 のです、女兄がお際のではなくお細下す のです、女兄がお際のに配して彼らい などったまではり数師に配して彼らい などったまではり数師に配して彼らい などったまではりないにでも、理様の見意は などった。 です、女兄がお際のになくお細下す のです、女兄がお際のになくお細下す などったまでは、などった。 です、女兄がお際のではなくお細下す などったまでは、といるの などったまでは、といるのではなくな細下がも などったまでは、といるではないますなどのです。 などったまでは、といるでは、といるでは、といるのはたくなどのとなどのです。 などったまでは、といるでは、といるのはなくなどのでは、といるのはたくなどのでは、といるのはたくなどのでは、といるのでは、などのでは、といるのでは、などのでは、といるのは、といるのでは、といるのは、と 文兄のために次の様な豪考になるお話をして下さいました 家庭は勿識、嬰智の課程にあるその他の見意たち及び彼等の 被一年擔骸の佐賀田乙吉提供は今年入學する學齢兒童を持つ としいける過程は繋びに満ちてる 途に明るい大きな希望が様だはつ 「熊川一定の時刻を張って勉強する 順なのです

ころか一年極つても成績の善意は の憑かい空中とれほご教育上なごと確定されるだもありますが は極端に申しますと離までがおいないのを見てこの子はよいわい す、温和なお母さんに接する別的よいのを見てこの子はよいわい す、温和なお母さんに接する別 いのです、教育の効果と児童の成総々と原金される智のものではな 温和なお母さんに描する泉薫 密観は大きな力のあるもので 念典しこれほど教育上に 、陰野な家庭で聞かし

◆…外童の仕事に對しては見る 家庭の教育上の差異は最早論で ・児童の仕事に動しては、こ ・ります。たいとフランネルは吸べ の す。 ります。たいとフランオルして ▼…安全館がのみが切れなく

と問題はプロセスの變化に留意すな申さ見れば甲に見られるのでた 教育的手段であるだけで殊に操行 不、あの純遺無垢な一意の全部。 就いて見ますさその見方に於

切な問題で懸ったら

ど存じです? の若返り・鍋釜のオコゲ落しから ニス塗の白い汚點取り・安全剃刀

→・・ニスを塗った相食を等に熱 取り難い鱗はがし等々

はいものを続せまずさそこだけが白しまします。 でい汚鉱になつていくら拭いてもおかにつよる。 でい汚鉱になつていくら拭いてもおかにつよるのよいに置いて取出し、鏡が作った。 のであれて生から熱源を記ぎ軽く 一枚数いてその上で十五六嶋の先 のでは呼いガラスの上に新聞紙を のでは呼いガラスの上に新聞紙を のでは呼いガラスの上に新聞紙を のでは呼いガラスの上に新聞紙を 先になって又役に立ち かに入れて上から無湯を止き暫くしまびますが、これを茶碗か湯を 縁の底が黄色くなつたりした時、▼・・常に御飯がこげついたり、

A 学校前 八三六

見意でなくては出来ない童心の表 人の理想に近づけ様さる上大いに限ります、よう

全陸軍協力の下に苦心一年の大作世界に類のない 陸軍清本は出た陸軍の任務は今後愈々重大である。今や國民は一人建らず『陸軍』を知らねばならぬ時が來た。 中が來た。 「軍部の保證し絕讚するところである。 「軍部の保證し絕讚するところである。 「軍部の保證し絕讚するところである。 「軍部の保證し絕讚するところである。 「軍部の保證し絕讚するところである。

大連各女學校の 入學期日と選拔方法 四割の入学を許ら

の大連市内各小學校

高等小學二年本業者は學力試験の職に資格者(聖六本業以上)を入 長所を延ばすために申込

上で二年に編入させることになっ

てゐます

の方へ擦って行きますさざんなに 得ら云への影響が充満しますからいぶしてごらんなさい、それ、そ ▼…汲取人が來ていやな髪が屋 かしつぼの不用な部分を斜に切つ 市中幾千の婦人――身分の高い大分おありのやうですが、大連 、親の上にのせた魚かその大概 人も似い人も、富んだ人も覧し 勝山洋行 て、卵の酸を細く物のに傷がついたり穴があ 

adt 700 Sile 800 Anner Record

名物モ存か來舍賴 みふと屋 6085 <del>数</del>22660 <sup>数</sup> ルビ和昭 内のカ・京東 社論評本日 普 振 ニニー四自)話 電 大一京東 四三一四至)内の丸

◆二百葉の軍事寫真は現代陸軍を完全に描い ◆二百葉の軍事寫真は現代陸軍を完全に描い た一大繪巻である。 ・一大繪巻である。 ・一大繪巻である。

第一次の 一次の 一次の 一次の 一次の である。」 一の である。」 一の である。」 一の である。」 一の に世界無 である。」 である。」

舶來化粧品專門 一〇米有名化粧品會社園 タルクロウス 會社題 モウソン 會社

一二町勢伊達大

ネツクレー 御婦人服、イブニングドレス、帽子 連鎖街 ス、靴、沓下等 見切 中山婦人服 九店

を位にして痛止り肺炎等二日以上の使用を必要させず等して無分良利と盲腸炎等利る様な動物にても凡そ二十割使用さ同時に鎮痛解熱の作用を禁むが故に貼用凡そ数分割 多の報告山積す棄物さして未だ概ざる無異的特 咽喉痛、 一一四 十五 五 経 回 銭 肩疑、

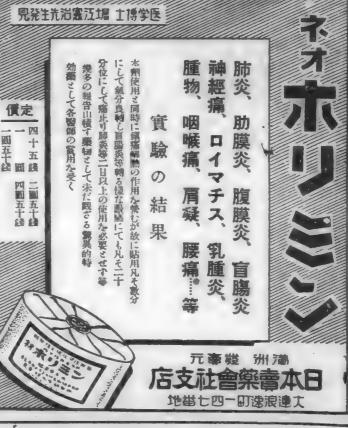
軍中人將一下上

堂々たる内容の

部

調本である。こ





百力よ

匪賊や寒氣と闘ふ

流感各地に猛威を振ふ

眞に日本人でなくては見れぬ

一千の兵匪

步码兵出動

九

地下にみる神秘

愛川村の地下水掘殿工事で

珍しい鐘乳洞を發見

大連市岩代町十書地 管线八五九九番

整田前

通過市民は我が軍隊へ和都に続呼、1の軍事」通過なは、する物山枝

は世際との松木に起そのまくで姓に射続であった、長春観謝所で

往來

珍しく美しい銀世界

そうです珍らしい美しい電で、十七日朝突安育に総のて帰海なる気である、雪の松が粉末の様に小さいのほ虚度が低下すなもつて東方へ自ひハルピン一帶から以南は雪になつが高べ回れが午後六時頃ま 申収に移動した、然と再び七百五十八ミリたが午後六時頃ま 申収に移動した、然と再び七百五十八ミリたが千後六時頃ま 申収に移動した、然と再び七百五十八ミリたが手がある。

映いて小さく食った軽の温かさで今冬の温かさは酸壁があつたか 長符今冬の寒さは微平に出し既る紫まれてゐるが臀は強いようで

平穏な涌遼

。長。春。の。雪。

商店も開く

(日曜水)

鞍山に歸る

大学 (季天)十七一午後一時代歌道を をあり通ぶな襲撃せんさする歌の まため総派大郎の指揮する歩砲兵 なため総派大郎の指揮する歩砲兵 が使に確った

→ 1 大型・ | 20 東 | 20

選陽海城一帶の

匪賊を

濱本聯隊の匪賊討伐

七

奉山沿線の満鐵社員

さため心臓や衣類など手間り次第

○部下六百名か有する馬城頭目何の

馬賊歸順申出

同胞宅を掠奪

新濱州に馬賊

| 「無魔」女那(大東学察教より|| 十名の 東映 || 大名の 東映 || 大名の 東映 || 大名の 東京 || 大名の || 大名の 東京 || 大名の 東京 || 大名の || 大 

ない。 ないでは、 ない

討伐に急行

人事業

撫順七年度公費 三十五萬千百圓 地委會原案を可決 増加か る事さなつて居る

同窓會 である

酒生醫院 お話 セハ六七

B

院醫

八七五八語電・話橋館常連り

場馬ルトクド

井上醫院 皮性 生殖器障碍 尿器病

話

7670



司

アタタカ

チャワンムシアフ

セテ

四





全滿朝

軟梅毒淋病

经

聯合會

北五

日より三日

花



セキの

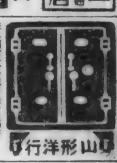
ぬり薬



大石橋東原大石橋販賣店



ることに致しました、右護告致し加するに鑑み更に左 通りは費店は此の多端のが柄 線谷地の 者間題こそ後々重以大とな て來ま時には未だ終熄するに至らずむし







産婦 **婦人の病は婦人の手で** 永井婦人醫院 を に 二 六 六 六 番



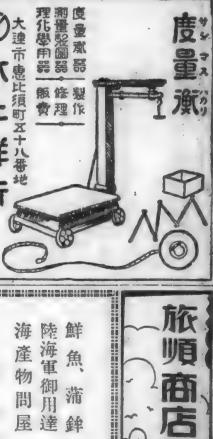
外の服洋紗羅

を寄立御度一たしまめ始を









旅 順 A

**御婚禮共職家送迎御宴會**上於非繁

ラ

三〇

産業三二 九

いさ下製比別を設値と物品

町葉南市堰接 商 野 **番六八一話電** 

吉

ス

市山吹町一〇六 神泉峰 大連販賣所

山羊

「何よりの祭養料で見、病者、歳弱者 创练演 每用 達山次

山羊の

乳

話 四三 0

亨

松

犇

正 新口座大連三八五四番 話 三 三 二 番

洋服附屬品並に釦類一式 ユークリー 8 別製ベビーシュークリ 各學校別指定都官衙御用 ,詩調製 旅順市乃木町 木 中 山 洋

九一店

進物用

れ、迷院に於ける第二四年外生活標語 の三千餘の多きに塗む十七日スケー を襲をやつた藍、歌樂が乾性に三百 の二千餘の多きに塗む十七日スケー との内十句を入職で造り散表する

へ大追町一八ノ三 骨田民子 大追町一八ノ三 骨田民子

事業は変し続しくなつた。 「ほら物質なさい。かず近さんが あんまり、娘のない鍵をするから さきで少しあきらめかいつたんぢ

東印 の御用命は 吉野町 一高堂 電話七 吉野町 一高堂 電話七 大連市大山通り 小林

底革

2. 00 1. 00 0, 50 1. 20

**重**箪形 0. 60 舖

日

初。 春の お美しいお姿へ 定 **复** 4.00 大 瓶 1. 小 瓶 0

理髮組合總會

助乳の麦酸、同業者中在煙車人に被きれ物を統一、車壁前乳酸酸、

戶外生活標語

御めてた 岩部米一氏長男 毛利弘氏長女伸

旅順の流感

ないよ」 其晩し、近職は来なかつた。

いりて平日の座販購ぎも対応れをいりて平日の座販購ぎも対応れを製いなの場合のはのは、

神法要を執行出職戦人の武速を久。

郷だから、さても、云つて來るの

中小學校の全生徒及答臘のチームとも識の戸外デーは十七十年後一公社職の戸外デーは十七十年後一

鷄冠山戶外日 警察署の異動

着のみ着の優になりかれないわっておくこさだわ――いまに、会歌に 喜美の其後(III)

小學校競技會

たパタンは、ひらきかけのグラフをパタの個手は、もうつくかくいやんの個手は、もうつくかくいやんの個手は、もうつくかくいやんののをかっことはないない。 てけちなんだもの。さんざ。人に

大連市大山・中東呼

甘

世八年 口 不 神 港 上 本 一 不 神 港 上 本 一 不 神 港 上

すき焼、和食等は

日本間を御利用下さい

電長三七六の番

强力治淋新樂

お布璽用

足非御試食下さい いたや

家庭

向

引越荷造 神器運送 亚洲代神

增田貨物自動車運送器 電話七三七〇番

ピーシュク 相始め

是非入らつしやいませ 各國珍酒・奇酒の大寳庫 女が そこにはファ お待ちして居ます パラの

**獲奇的なモンテ・カルロ** 

撰定大

ダムで女房 豫

監設督計

横井

建築事務

工工事事

一般に貸下ぐ重砲隊の馬を

天六〇一番

スケート會を催したが顧る盛舎で 正小學校生徒一同及一般人様に集合の子後一時より小學校と庭リンクに 全音板に於ける十七日の戸外デーは

の安東に於ける催しさしては雷

世年より六道議及大和校庭に歴史 の解リンクに於てスケート祭を収 でせるが此の川麗かに私際に歴史

吉林月外デー

吉

木

ばよいがさ心配されて

る場合、返還等に取る規則が定めなりは総代した アの馬糧等に要する一切の費用 無償にて借受人に附典とはは付期限は特に定むる場合を関連する。 

を受育六十元科政は十元な確解す 一場の続級の解妆より端め一般のまり権限することにしたそれに依 総盤・ル施総の頭く滞走し定級感 リンクに多田地が事務可長来場しるさ科及月総三百元融料及二百元 リンクに多田地が事務可長来場しるさ科及月総三百元融料及二百元 リンクに多田地が事務可長来場して、総盤・ル施総の頭く滞走し定級感が長来場と

戸外デー盛況

第二の反抗(128)

三宅

g.

電六二一七 五支金

岡部紹介所 (株人類、西東、野山、海、ロイマチ 株人類、西東、野山、海、ロイマチ 株人類、西東、駅山、海、ロイマチ 大連市運港町五丁目二百一番 大連市運港の基本なり 大連市運港町五丁目二百一番 大連市電池町、海、ロイマチ (株人類、西東、駅山、海、ロイマチ (株人類、西東、駅山、海、ロイマチ (株人類、西東、駅山、海、ロイマチ (大連・大連・被番前艦へ九匹八番

力

東

經

な

自

動

の東京所 電話九七五五番 を選え 片 岡 株 店 電話三次一番

Modern

大の なっぱく では 一手 は 一手 は 一手 は 一手 は 一手 は 一手 は 一手

電四九一六番貨物自動車

引越荷物運搬

Drive by your B.S.A. Three. Wheeler 一、六〇銭川

お見つてゐた舌に見るもあみず、み始めましたら、四日日度から荒

て 次年に 人並の食事も はれなくな で 大部に 人並の食事も はれなくな で 大部に で したが、 だを 思さしい で からく 野者 に から で したが、 だを まじんでした。 そし

の最上が禁つての最上が禁つて

東するりませんでした。 東するりませんでした。 東するりませんでした。

一永年の胃病と同時に癒り

を表示足になり、病気に動きる が表示足になり、病気に動きる

惱み拔い

た鮫肌が

■取る書通の使いまくのを茶物に 山斯り一様、美味しく頂けるやり になつたのみならず、食経ちつと

を用ひた壁門をが振ったといよ機と な事性がありますが、之は別に直 さったがありますが、之は別に直 さったがありますが、之は別に直 さったといよ機

撃を起し

满

冷え性の婦人方へ

この方法をおすいめします

新聞な空氣の中での運動の心要な新聞な空氣の中での運動。疾に戸外の近極に適いな運動。疾に戸外の近極ですると一層危険です

(六)

の 個々の病気に罷り弱くなります。 とが思言に含まれてみますので、 とれで血酸腫は自量の緊張増進 一概でよく數種の配置を取ります。 と同じ効気があるわけです。 と同じ効気があると、動態の気があると、動態の気がなった。 と同じ効気があると、動態の気があると、動態の気がなった。 と同じ効気があると、動態の気がない、一つつつの効果を機 まずので、むくみなどがある場合

冬

向

新

産なん 命取の子癇や、 むくみ等の諸病はかうして防ぎます は、担抗力が建っますために、病者の 機能を場めて、野獣の緊
に努め、特に胃臓や戦闘を丈夫に と同じ効果があるわけです。
と同じがよく数色の態症表を用ひた
と前じ効果があるわけです。
と前じ効果があるわけです。
と前じ効果があるわけです。
と前じ効果があるわけです。
と前じ効果があるわけです。 腎臟炎、

たけでは充分な効果は得ら上心製な業養素は此の他に上心製な業養素は此の他に 電白・横、電、カ東京の主情、へ

つはり

花の 御進物に御茶菓子用に是非共 屋自慢 西廣場 花乃屋 の屋子 共 1

な 毛糸、 毛織物、絹物の洗濯に For All Fine Laundering MANCHURIASOAPHFGC9II

物が分え性にいると

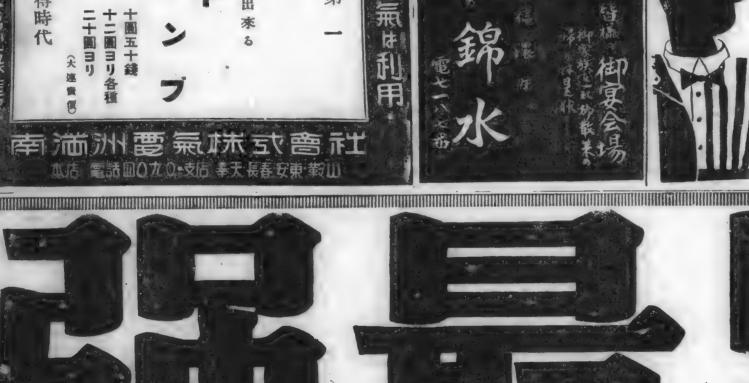
店電化る食

**| 同賦提供湖中込灰第型錄進字** 室內 は信用 大型スタンド球付 川球付 で で自由に も夜でも 紫外線獲得時代 日光浴が 電氣は利用 第 出 十二回ヨリ各種 來



र्चे.







か今三十八段、スリーキャだ。ウエストミンスターニ

五段が八段になったのは皆さ

恤兵金二 百 餘萬 圓

慰問袋は百五十萬

事變と國民の後援

(日曜水)

焼草は銀の開窓から

洋品頭は今出入野でない

の動きだらうさのこま、洋池では一緒来版は三緒来版は三緒来版は一緒五分位 なか、しから国産品は一

の様が三倒から三関二十級へ、

も怨

8)

日以後の法交融が養育するを贈ると決議したので、大連漢間屋の十二を決議したので、大連漢間屋の十二

時計画である。

能業を開始

金東 只寫眞學校 紫紫原

物價騰貴時代

で難は續く給料取

匪賊團牛莊城を包圍

どりこの対別に

地理に誤謬

雜書誌籍

報信作後書 名献三水月 門 月 内 東京日本社区

収工

設

便衣隊は各所に放水

我軍苦戰に應援隊急派

# 中の物質調 カメラ名動窓が五十五側から七十四へと現在は二割見窓の値上だが 三割五分位までは経数の見込み、 サラリーマンに痛いな影響のある 洋脈は緩殺は二割五分前後上つて あるが現在洋脈は慢端も正札を提 へてゐない、似と親続からは一割

と相呼應して城内各所に火を放ち、之がため我〇〇部隊は苦戦に招我が〇〇部隊が対戦、野に同五時に発るP城内に潜伏せる便衣塚はこれ等馬賊團十八日午後四時将城校北縣、韓山の報名を約一千五百名の匪財團は牛莊城を包 国

ったさの報に接し、然口及大不橋より

思接触を急張した「野口電話」

百名の兵匪

である 【被機電話】 である 「ないれでさら出跡戦争中 である 「ないれですら出跡戦争中 である 「ないれですら出跡戦争中

したなほ三氏は近くい

南湖領に

による主教生九十七代これによる 物味者さなつて証拠せる者七十九 名、死亡一名であるが昭和五年度 名、死亡六名に此し四十二名の滅 がなしてゐるが事故教柱は矢張 り印献車、作戦車のスセード物で りに対してゐるが事故教柱は矢張

おける交通事故を調査したさころの場合の同素的内に

| 演蒙を正規

交通事故減る 小崗子管内の

公安、自警聯合隊を撃破し

我軍警は附屬地警備

遺骨門司着 二十八勇士の

七日午後八時頃面

今年

の義士會は

時局柄盛大に行ひ

般のために戦略を観ふ事さなりた別表高女に教職をさる語も聞く一別を高女に教職をさる語も聞く一

地出身の総俗宮本柳が氏が旅大連在住の織路線柳河人一同

柳芳書伯歡迎首

神子五拾韓以上 東京には多角形 野子五拾韓以上

展覧台、講演會も催す

るを機會さるて二十二日午後五時 一学から吉野町鳴戸に集って交補を 温める事さなつた

餅餅

12番

二人組一姓流

お洒落彼女氏や 洋酒黨痛手 煙草プカー〜吹いてはをれぬ 服属さんに禁金輸景気

にはいづれる三部前後騰貴の見

今冬物の洋眼の注文の多

が、主は三、四年來のここで保年 の傑ださはこゝもご学販売さんの の傑ださはこゝもご学販売さんの がち五分位の膨脹は各小賣店でも から五分位の膨脹は各小賣店でも がら五分位の膨脹は、彩物

御下賜

平壌鮮銀支店の

七十八萬圓事件

犯人は内情を知る者か

イ、大石良雄さ山中幸盛イ、大連二中教諭 谷口 鶯次大連二中教諭 谷口 鶯次時局後援曾常務 宮性 離成ハ、 馬々渓の戦闘に就て 陸軍歩兵少佐 籔内 文平本、毎回に使して

時局後接替々長 小川順之助へ、養士に就ての所感

交替部隊に

泥棒除けの錠前類までが

十銭星能働上りさなつてるる。日 果、去る十川から四斗権一級につ 兵庫は勢ひに乗じ職権山に耐ひ逃昨年十川頃に比較するさ終一側五 五家の有力な醸造者遂が協議の結 像際にして公安隊晩北橋逐頭と、壁山の後順大米僧が勝り、現在の な寒化を変してゐなが、現在大連では急動 フミフラス・モラーコ 白米は昨年孫の金輪出来 な悪化を楽してゐない、低し、歌

お臺所を預る ダム連⇒悲鳴 約三割方の値上りだ

7

威昌

月猖獗で

國族指揚式

博士尾形I配

清

不敬事件の處分 **発官、罰俸等天々發製** 

一ケ年間日上 野務課長 網島豊定衛門 野務課長 網島豊定衛門 マチ川関半等月割額十分の一減 管房主学 対域 信夫 アイド 一ケ年間日上 に関する繋が底分は十八日左の如 二ケ月同年作月割領十分の一波(東京十八日数)機田門不能事代 一ケ年間年作月割領三分の一波 題女へ各選り 譴責處分 陸軍侧責任者 內務次官 河原田線吉 がすに我ったので學校 間の臨時体松でるのも

特高縣長 山本 義單

**休報時級練監 長** 

※一、第二州中県校は 原目役交権の一味が述

窓に終見されて戦死した

さして機能とその後端州に止まっ 提助とてるだが十二月中間風が感を影響はは一點がに悪傷が、あって際にに悪にわが戦の特別を受回者がある――京都府戦戦が、あって際には開島の方に 

殊勳の杉本定吉氏

單身敵地に潜入 我軍に助力

如く時間割を認定するとになったの間情を聞きため二十日よりたの

動川署長田村英雄(東京十八日表)不能事代の陸東

学山線の時間を更

大連兩中學臨休 はにある級のの 二十日から四日間

をでいる。これでは全世が始めてである。なったのは全世が現代のため中等事をが職時体のにあり、のは今世が成功のである。 電では関か子飛行場まで出述へ人 に着陸の単定であるが。この日確 生きる大連上空にその雑姿を駆けて カートに 愛阿紫一然二號兩機工二 愛國號出迎へ 间午後一年十五分周水子飛行場 のパス運轉

のため午前十一時より三十分戦さ マメリ質行きがさまつた。 い質なでその間にあつた酸人 恵大いに北曳来んだがその後し 地質があんな数料を告げるやメ お学 の感があった

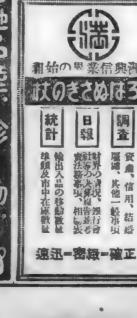
を初めたので又もや實行さが上を初めたので又もや實行さが上

大連若狹町三(89通人) 型話してして六番 グロリヤラヂオ



有が 英・キングオフキング 第 オールドラリッテー 丸額ケイスキー ク・ジェムスマンロー の 説明のイスキー 日本各地名産 界各國 レッドテーブ 東京風菓子謹製 酒類 の利能が得別です。 ・ カスイクトッケホ ・ カスイクトッケホ ・ カスイクトッケホ ・ カスイクトッケホ ・ カスイクトッケホ ・ カスイクトッケホ ・ カスイクトッケボー ・ カスイクトゥー ・ カスケー 食 物 0 00



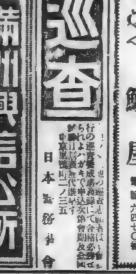


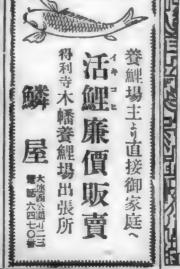












会 一部郵税共に十五銭であると 一部郵税共に十五銭であると 東に関東

の頭痛にノーシンの

會

馬馬大演說

二十日午後六時

神田 大事に至らず相濟み候段誠に仕合致候都には近雄の際御日名御伺洩も有之候やも難計候に付不取宜以紙「御禮中上候やも難計候に付不取宜以紙」御禮中上候をも

學豫和

夢學生

00000

十七四五四

なこさを翻したのに

、除り縦に気をさられてるたのれたことは光されいの

「そんな人はないわよ」

院醫原相

ないでは、 ないでは、

を表すりの資格を立ったと云ふが、新中草々の今から風を振り、 を表すりの資格を立ったと云ふが、新中草々の今から風を振り、 で、月の触るくなるまでに一事を成かって優の電がふくらむより。 で、足の一生。

最初の第一回目より 母院を演奏しめる時間がにより、関係へ社談なる情報を一般である。 ない 脱版を一生なる情報を一般でする たばが な に 一世年に 具 に が と と と に が と に

◎ エンツンデュング作用=

神秘極まりなき

物理作用の真空以引力=發育促成態 嘆すべき

は、世間の好事領は、写真い島の様

なきエンツンデュング作用を終生し、また、温度の窓、温度、なきエンツンデュング作用を終生し、

「今夜観さ一緒に遊びに行って見「何處に」

三四五六七八九十二二四五六七八九十二

古三二五級級

夫 幕陽 七本送

大 吉 唯 夫 氏 氏

短日敷間に

3小が强大となり 実性の資格を完成した。 というなど、世の音楽とがあった。 大生が明るくなつて、世の歌う合と動感がが起り、大生が明るくなつて、世の歌う合と動感がが起り、大生が明るくなつて、世の歌り合と動感がが起り、大生が明るくなつて、世の歌り合と動感がが起り、大生が明るくなつて、世の歌り合と動感がが起り、大生が明るくなつて、世の歌を変した。

名

證明推獎

を空過せず早速實験せられよ。來らず年の始めの意義ある一日

李寶特許 登錄高標 金四侧五十號 金銀空水治療法器□具 金四侧五十號

(四)

はサラーへとして白粉が浮きません。

(八)

 $(\Xi)$ 

◇包莖安全自療器□具

直でハガキで御申込あれ 川野内容・佐町新知線解は領報、木器

電話が、天八・伊書大阪石七九九大 阪 堂 島中 二丁目 三十二 京新学三三一・探書県京七三元 東京 市 芝 區 神 谷 町 十八

京東 京東

新新

療療

研

法

無づまた取り結べる人があるさい

Dannoelle

洲

Monyo agora

mmasento

royona

otoroga

(171)

漢を流して 「ि程さへ無に入れば相手は氣にいすわ」

恥ちさ寒味さかわけみの顔を

大放きが 連了

と 親さは遠つて、御前さは同性のだわ。 都の無に入って、御前さは同性の

▲矢語議屋「テキスト第一

「春木」さ云つたがお寝はそ

のほれたが、一はの鬼きが愚っながなるであろうとをなったが、一はなるとない、長くつといた不野気をたいていたが、一はの見えて、壁を活躍を帯びて

ヨリ軍人なる意味を有するのであるがり、番曲者となるから、生産品の健全設育は、

当六八〇六電

ワ固煉白粉

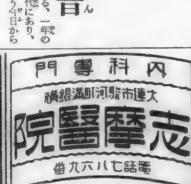
大でも、美しく附着伸します、金四十段) サーフ化 粒 水 中の一般は 化粧下なくたも 之を附けた という形は、化粧下なくたも 之を附けた 一等でも、美しく附着伸します、金四十段)

変臭サテでいた。

こも

仲よき白粉

化粧下な



はき年時代になってある。



歲

小景氣をさるの

◎今年は景氣回復 かずるとなっなく。又年の常になつて、今年も一直で質行に見なることが必要であると思うて関るけれども、ウカくして居ると一様らに考べるよりか、他日の後悔なまは順かしよう。二年分も三年分のも成為をある。はまは、月にあり、一生の計(または)には一部の第分も競らしくなつて、今一空しく過ぎたなと云ふだになるので年には一説の第分も競らしくなつて、今一空しく過ぎたなと云ふだになるので

チタニ

たとく言が配の上を過去つてしまりのみである。 に失しく言が配の上を過去つてしまりのみである。 になりますでは上に人生の学園がからはれても、自分が生 好き気では上に人生の学園がからはれても、自分が生 好き気であつては、おて自分別り質別なる。 これである。 ◎生殖器發育不全

大くしつ客に書となるから、生殖器の概全器育は、 生殖腺ホルモン の内があるとしいか り、野力に変し、元潔なく産業なく 芸様に ら、野力に変し、元潔なく産業なく 芸様に

富 昔のの五八話電

白目

粉

マーワヴアニシングクリーム

肌色各金二十五錢)

サーワ水

原 白 粉 で (白色、肌色各金六十種)

られます(白色) 肌色 濃肌色各金五十銭) 自動、共に駆化粧、濃化粧等の補助に用 自動、共に駆化粧、濃化粧等の補助に用 作業と きっぱっにも直ぐにはれ、粉 作歌にと きっぱっにも直ぐにはれ、粉 作歌にと きっぱっにも直ぐにはれ、粉 サーワ粉 白部粉

を巧にクリーム化したもので ・ 別型を組にし、勿節肌膚の ・ 別型を組にし、勿節肌膚の 色 肌色 濃肌色各金四十種)

サーワコールドクリーム
・ きないでは、これで、多季には特に所記を放く、夜クリームとして又はマッナリーは、高化紙下にも適し、自然を落す を翻くし、色を白くします(金五十銭)を翻くし、色を白くします(金五十銭)として新化粧には勿論、一般薄化料のラとして新化粧には勿論、一般薄化料の野性のクリームで、附近はサラサ所轄を供のクリームで、附近は

(金五十月 白粉

满锡広西

四話

掛五二

普通白粉とは全く原料を異にし、郷野に鍛売 で、汗に崩れず、また制け落ちません で、汗に崩れず、また制け落ちません で、汗に崩れず、また制け落ちません で、汗に崩れず、また制け落ちません で、汗に崩れず、また制け落ちません で、汗に崩れず、また制け落ちません で、汗に崩れず、また制け落ちません はサーワ化粧水だけでも美しく附きます。ミッワ石鹸で洗い整へた地肌なれば、化粧下ミッワ石鹸で洗い整へた地肌なれば、化粧下 (五) (六) (七) では、できる。 ・ は、できな、 一般が地順に溶込んだ様に ・ は、では、 できな、 一般が地順に溶込んだ様に ・ は、 できない。 となつて綺麗に豚無く飛んで了ひます。 なな類に附着ても乾かして叩けば、粉木がきが顔る速いから、濃化鞘しても襟を汚さ





の中私立お見わ下さい。

第三回化學工業博覽曾優良賞受領大日本俳優協會推獎 日本俳優學校專用 顯 名流 貴婦人 三木元子女史創製 御愛用

注

リーム等をお見ひの第よ。「TWANTER AND TO 中野の通りをよっている。

ら石鹼本鋪 東京 兩 **新 替 東** 七10四

3

が決して左鸞な事はない、自分は が映によるから知れない。 かあるのけではない、罪は自分に 統一の時がない、今は があるのけではない、罪は自分に 統一の時がない、今は があるのけではない、解除で強根を明 でも事ではない、外際で強根を明 になるから知れない。 とせずして答めに驚言が思る、甚 になるから知れない。 ・ 然致に関してはない、今は が決して左鸞な事にない。 ・ なるから知れない。 ・ なるから知れない。 ・ なるから知れない。 ・ なるから知れない。 ・ なるから知れない。 ・ なるから知れない。 ・ なるから知れない。

が此に遭つて居る、而して何さか

て書館を聴する事製だといから語 い響だ、中國は際に外國からの証はない、強し彼等は分前方にあつ も中國軍人に左標な不心得者はな新聞で見たが自分が是認らたので を貸さないこ保障する、其他部で見たが自分が是認らたのでを貸さないこ保障する、其他部で見たが自分が是認らたのでを貸さないこ保障する、其他部で

萬全を期して行幸啓御警衞

武装解除をならからおが作用車の最高延振を占城られるが、製作車は十八日正報告によるさ、製作車は十八日正報告によるさ、製作車は十八日正報告によるさ、製作車は十八日正報告によるさ、製作車は十八日正報告によるさ、製作車のが作用をいた。

戦命令を發し、 新吉林政府に擧つて歸順する旨の連名の通電を二十二、二十四、二十五、二十六、二十八の各旅長は前線部隊に吉林政府より軍費支給を條件として妥協成立、 薦東北政權建黨の顯然によりハルピンにおける殿政府代表の前後十數國に取る和平党隊の総拠

(刊日)

# 報告職 班 特 养 所 別 道

# 了戰

### 北滿動亂の危機去る 具支給を條件に妥協成立 し歸順 通電

作舟軍總退却 **楡樹縣城で放火掠奪す** 

政を秘密しているると、関にこの機能器攻撃に際し激微市会は負債したと解へられてゐる『長春電話』に放火操動した、め城氏は阿鼻咽吸宛がら生血脓を現出今なほ巡避中だが試伐軍は良民からて機嫌器して機造部勢のに乗じた 微微電はこれた追撃完全に機械競滅の起族した、離は退却に先だち城内各所たが野破骸の縁態भ撃で十八日午前九時聯兵隊を程識に懸滅の器攻撃に移り張伐飛軍四千餘は襲を制機機緊叛に終て野時中であった吉根側甲草・紫微の起族兵六千は十七日夜より縁攻撃の動節中であった 張作舟軍包圍さる

捕虜か 際長李錬久は縁銭なる一千の騎兵衛政府制庫市会于機器の麾下騎兵 総部を御輿さし六百の歩兵の武裝を御数し見事成功し張代形以下 軍縮全權一行

**畑虜數二三百名に上る** 

ーがに急行し食酸素薬を練ることを変更廿二日ナポリ土陸直にジェネ (原訴丸十八日教) 我軍縮全相一 壽府へ直行

**大逆事件口論議** 

餘地を與へ

ず解散

勞農大衆 合同提議

黨に

野黨あす對策を決定

一二十日 監戒部役員を決定し

『古林十九山發』今朝公安局に入

政府派に多大の打撃を興 張景惠氏と會見 ある不 任警務局長

元北海道殿内務部

社會民衆黨

國家社會主義

されてるたが、張歌

立宣言腓日社合せのため率天より立宣言腓日社合せのため率天より 南京國難會議

一般分離で成州へ赴いた、右は孫林、伊藤欽、吳鐵城の三氏は外の諸問題を決定するこことな 八日發】國民政府は二月八日發】國民政府は二月 二月二日召集

短く決定さた 「東京十九日餐」政府は本日の閣 がなく決定さた

警務局長更迭

「東京十九日歌」社會民衆黨は一大會も之を可決するもの 大きなの第六回大會を 記長を中心に建つた國家 「東京十九日歌大中央委員會を願き への報前で監目の決定は 「東京十九日歌」社會民衆黨は十 満洲事態を釈郷に昨秋い 社民黨立黨精神

日午後二時から芝の協調會館で全 けふの委員會で決定 関中央委員會か開き上 で捕殺に依り質問題位を決定す 殿では十九日午前十一時から院内 こさいなのたい

聯盟常任理事を

松平大使は拒絕

佐藤大使に就任交渉

解説により野藍の意見養表の機會 際に立ち得ざること、なり、語會 市氏等與點系離此もあり賦飲決定。通告者中には山岡萬之助、森田縁 上は皆然順氏は通告が取消すで氏等奥震系輩引 遊二郷二州上氏を劈頭に送ら 関わる時野薫鯛は野恋質

(東京十九日登) 外帯省は後低職 州極は佐藤ស的大使の戯伝を繋返れていたが、松平大 を減を縁起中であつたが、松平大 正式決定の答

十九日午前十一時貨飯院書記官長おける壁旅院の覧問者顧左の短く 貴院質問者順

會民衆無は國

機両のは

で、紀後秀男(公正)八、 ・ 大河内解耕子(中 の、 森田福市(交友)五、 加 ・ 大河内解耕子(中 で、 大河内解耕子(中

思想事與係

のてゐるが、この問題は來るべき いての論語を与す餘地がないので明け時會緊張監問を要する事にな さなる機械であるから本職部につ他に對する政府の態度につき依會 材料であるが、依會明け緊張繁散

は、大型に大型であり、元老である、いらい場内を見てるた。 で選ばらて理へやうさして居る、異和ない様子に愉慢さうに、感要したいが、自分は概に人を概違に 五人の資替の日本人會最は、帰ったなが、兵型は持つて 瞬の蛇の姿配應は、とう夫れか らは行ばれなかつた。 からないが、自分は概に人を概違に 五人の資替の日本人會最は、帰って 地震に大きな は行ばれなかった。 いらい場内を見てるた。

2

写めに北平に三個の委員會を設け いので困る、財政整理政治公開の 密扇者 だから前に百元の機器 北平に 総識の二省を合して総 北平に 総識の二省を合して起 た北平 蜂萬元不足してある。 た北平 蜂萬元不足してある。

北支政權に

未練多い張學良

最近の釋明的言動

物を出にし 作、致動の不足は中央政府からの だ、致動の不足は中央政府からの だ、致動の不足は中央政府からの

職能に送って置ひたいものだ。

が関を出るさちよつさした繁命した人の後を辿った。 解路ル出るさ山脈通り て、翌日のがへ出て行つ

いふので其事に從って配伍してる ちものさいはれない、 触に事化がよいさいはれない、 触に事化がよいさがないないない。 かに事化がよいさ

上がった。 「是那こ同性雌ひたいのです」 「独々さういふ熱心家があります 一五人は又も離か見合せた! 「それは、何ういふ意味なのです」 「跳い趣味です、 むし人食致したいのでし ・関連をお呼びになったの

起来ご同性臓びたいものです」 でもするやうに見た。それでいた。とれて検査でもする男は何の様子な、吹め

### 關東廳 内務局長後任 警務局長後任 兩局 友部泉藏

と主張し居り今後 野山が社 とお歌し居り今後 野山が社

非でその要旨を破棄すべき順大な

選擧取締の

判例破棄

山間是官の養低で同時に登合 兩氏ともに適任 中谷局長の後任者

政

檢察首

にして朝野殿繁日郷遊県戦闘に任

元和歐山縣知事

友部

泉藏

# 警察署長のみで 白廿名更迭

な議會が解説される事は最早難け 単動を行ってぬたが、依會明け早 要動を行ってぬたが、依會明け早 表を行った、斯くて内容省の選手務官並に署長級百二十名の大 「微いさなったので、十八日 要に本省事務官六名及び地震院職管下の署長の大異動 内務省の總選舉準備 は三月一日激洲へはかである。 東世三月に耳る能派を終へ十九日 東世三月に耳る能派を終へ十九日 東世三月に耳る能派を終へ十九日 が、なる。 に三月一日激洲へはかである。

問題が決定は郷野雨窓の起し注意 井上前藏相の 野黨劈頭を狙ふ 成り試合解説を 十九日出帆はるびん丸にて結神十九日出帆はるびん丸にて結神

かれ締み、慰養を

が出来るのであった。

四面自在に、意志を傷へ合ふことが外の誰にも知られず、會員同志

「いえ、食息ではありません」

マアミお宅様でと

一入會元さ

く、降りにあた者で

黄帮の入會式へ:

やはり貨幣

日人日本信者五名、上海玄那年 で変明きに遇い歌像、殿府追究し き組みの

國府一 か、帰の坂く龍薫蛇尾に総ち、麓々が集つて傾々が縁せら、麓とが

弘法も年の限りさは云つて居られ 所を問題へて居る好きはヒドイ、 府を問題へて居る好きはヒドイ、 と衛氏側目報不敬事化解決す、 但し形式能解決だけでは演まされ 0







史 170 第本 口質 B



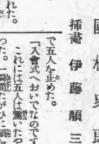


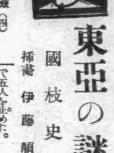
で五人を止めた。

なこれを職して装蔵庫と云つた。遊 が然の総社には、院がの職に会見 が響の総社には、院がの職に会見 が響さいつたやうな支那に於ける つた。一瞬間たがひに縮を見合せ の乾に 「貴郎は・ さやゝあつて緑の男が云った。

練習艦隊歸港

コップで概さが片づけられた。 插一 伊藤順三







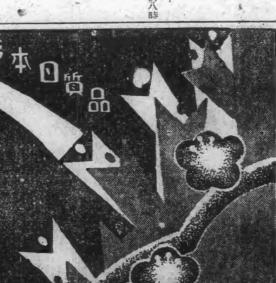






機關長に土肥原大性

うらろ丸二十日午前八時





断髪する力士團 標、玉碇、大の里、和歌島

三、朝風荒ぶ冬の夜も る夏の日も 貴き人 の間もなく

なく 守るはわれ

人類平和の戦に 向ふはわれら 人類平和の戦に 向ふはわれら

こて男ましく 天馬の勢をさながらに 理事を指してまつしぐ ちょうしゃ 大馬の勢をさな

しんの鳥 人生至 なつさめ、造権く猛火も何のその 命た

十九日午前十一時から市役所合
大部、憲兵隊、警察署、通信局、兵站部
議室に民政署、通信局、兵站部
議場、中等學後、小學校、在郷
平人聯合分會、創工会議所、區
東人聯合分會、創工会議所、區

古賀聯兵職隊の名譽の脱死者遺骸を揪して十八日午後三時畿州に輸還した卵土の遺隊は偕人艦別の上『翁州十八日發』総西一帶の匪賊を探滅し、古賀職隊の飛ひ合戦を行った佐田○○蔵戦は松尾輜重隊

依田旅團錦州に歸る

市民に煙火で知らす

勇士の遺骸を擁

大連消防歌決る

懸賞募集の入選發表

る大連の 繁榮を永久に跨りつ 水火の離れ防ぐべき 使命 は重も消防署 は天か熊すざも 選派地に狂ふ さも 我身か捨てゝ潔く 起て

われ等が高高の 使命を踏る象 数なる 一、名賞共に東洋の 関際都市の 花さして 東豆り

組織と蜂婦に任ごわり 関下の彫観約三百九十三名は我 軍に帰願して於海地方自衛州を

兵匪を撃退

(日曜水)

大の女に 「、護徳縣両方地區には目下至る 所に興賊蟠原し各部落を採奪した の、あるか以て獨立歩兵第〇大 酸の同方面討伐後は羽鬢〇中隊 をに任ぜもめつ、あり 安に任ぜもめつ、あり 安に任ぜもめつ、あり 安に任ぜもめつ、あり 安に任ぜもめつ、あり 安に任ぜもめつ、あれ 、大、好友、新來、古四、飛虎、 天、好友、新來、古四、飛虎、 長江好、全勝、老來好でされが 長江好、全勝、老來好でされが 長江村、全勝、老來好でされが 長江村、全勝、老來好でされが 長江村、全勝、老來好でされが 長江村、全勝、老來好でされが 長江村、全勝、老來好でされが 長江村、全勝、老來好でされが

司令部景表にかいる匪賊の近況

湯寶城で

軍曹戰死

### 昨夕華徳路の東華紡附近で 海邦 の重傷 名

ず支那側に對し犯人の逮捕を要求するに決定した。
「名は生命危篤である、我總領事館より救援に赴いたが取散へ中附近の支那人骸名に繋ばれ袋叩に遭ひ三名負傷附近の病院に擔ぎ込まれた中附近の支那人骸名に繋ばれ袋叩に適ひ三名負傷附近の病院に擔ぎ込まれた中附近の支那人骸名に繋ばれ袋叩に適ひ三名負傷附近の病院に擔ぎ込まれた

總領事館嚴重抗議

英大使館に

際日、郷山を経て

生身紫色に むごたらり 一名は肋骨と左腕を折られる 腫れ上つて 加害者は全部逃走

での海事識は専門書に特配されるなどいみじくも御高名に亘らせられるが、昨年八月那須御學御研究室にて職伽鰕に御駅み避けされ替ては伽生機跡新穂御餐見のここなどもあつて展別、展東京十九日餐」撃上陛下には織て駐蛎県に特別の御興味を持たせられ宮城院上御苑の生蛎 變形菌新種を

再び御發見

の新種を費見され「フイサ の新種を費見され「フイサ

畏し陛下の御研究

取地那須を冠した新學名が

### 各地工 團橫行

山戦に解れて之等戦戦と六時間に取る 大突戦を行び戦は必難二十を資棄 して満走した、この戦略に然て科 して満走した、この戦略に然て科 して満走した。この戦略に然て科

るここは全國民の擧げて欣快に堪へねさころであると學界では海鳴車上げてゐるとまれながら深き柳遊館の上に立たせられて世界の學界に再び新穢洵數見の煥觀を智せらの情に下には殊の外御繁悦に渡らせられるため近來は極幅な領院吸を割かれて御砒瓷にい降され生物學者近木義數氏により磁辨學維諦に記載され世界の學界に要表するに至つた、

種消費見の快報を寄せられ

軍司令官が放送

二十一日夜奉天から米國へ

**久邦に對する挨拶** 

牛莊に來襲の 除への入電によれば同職隊河野中十九二夜際口より歩〇〇職隊留守 沙嶺の戦傷者

たが、わが部隊は十八日早朝総資

除さぬ力とて今無これか繋が満走せとめた『参口電情』 第〇〇〇際が用用をより作後兵庫討伐より教後に向った第〇〇〇 まため防賊に努める一方昨夜兵庫討伐より教後に向った第〇〇〇 銀の目師を現て襲来したものであるが、城内部側の我軍は兵力少 はの日の原が用用を表したものであるが、城内部側の我軍は兵力少 は、大田の兵庫十五百は然日駐屯 今朝救援隊ご協力し

三、一般市長および中等學校女生 徒、小學校上級生は各自日の丸 の小旗を携へ忠強塔前最場に集 合こ受飼財飛來に際も萬歳か三 唱もこれが輸到をなす事 四、各團體代表者および中等學校 男生徒は各自日の丸の小族な携 行し周水子に出迎へ市長は市民 た代表して飲迎離れ陳ぶる事 た代表して飲迎離れ陳ぶる事 に関示子飛行場に於てなず事 ては役所關係の代表者に於て見送なほ二十二日午前十時出餐に除し

愛國號飛來を

四十三【寫眞は三名

職家に とて目 東京特観士 目下本紙に連載が評を 小説「第二の反抗」

連す三の は子紹修 十数や者

内十歳就に下脚されたが今時また 略表された御熊饗は昨年八月滿洲 下附さる



※教商◆志摩洋行 ٤ 米の

出張所釋為

岡岡岡岡帯 郡町 二一一六六 低日 一二一五五

西の風晴一時去





新民附近は 依然不安 匪賊機を狙ふ

脚匹三、水銀三を塗敷し西南方に がにおいて十七日夕販館敷架した がにおいて十七日夕販館敷架した

一の一般を記され、又同日報同地東南方部 を事中であった版献は遊雅とル車房 事中であった版献は遊雅とル車房 で等多級を演奏し青方に進走とた な云同地附近には五百名が至于名 な云同地附近には五百名が至于名

語》 総不要に騙られてゐるさ【率天電 を表記を表してゐるさ、「本天電

日

に報社日十二

ふ」を附着してあるので江口歌歌へなど

正しまっていのないなべす。

第九拾參回決算翻

一〇〇ポルト一二〇ワットで球二吋レンズ、四百呎リール、フイルム、セメント

同乗、胎院大地ではして第一次を同乗、胎院が 大石桥 備の準備 

旗上げ 興力士團 興行

來る廿九日から九十錢均一 問題は國粹會の面目

らせられるが、昨年八月

用取御瀧在中附近の温泉地

で懸行する事 日教』に立った新版の他集合と第一版に立った新版の他集合と第一版に立った新版力主職に立った新版力主職に立った新版のを五日間上で表現の他集合と第一版に立った新版のを五日間上で表現の他集合とりなる。 縮外務社員招聘

自自して居る の外表類瓷點 後 期 緑 越 金 か同りに變する 山口縣厚狹郡小野田町 配和七年一月十五日 配和七年一月十五日 配和 七年一月十五日 配和 七年一月十五日

ント

會日

三越三階ホール

コロムピア二月新譜

年齢、三十歳より 中等教育以上の者

便去除か線狂びで大連上陸の際一 の男様が安宗宣統で入りその美線な風が でいまって大きなでで、これでの後北 の男様が安宗宣統である。 でいまって、これでは、これでの際一

職出 監監監上保取常取取取締役 建立保取等取取取締役 建立保取等取取取締役 建立保取等取取取締役 建立企業の を設定を を登記者を を登せる。 を受ける。 を対し、 を

男裝少女餘開

即希望の方は複解落地帶御

大連出張所 

キュービー

マヨネーズ

第二の反抗

作者

逝く

三宅やす子女史

セ將軍來連

たから

2

不意の御來客に 毎日の御食膳に る藥 各地印刷所にあり

東京馬號町二

寄宿 舍 完 備◎學 費 低

の頭痛し ーシン〇

金

本のでは、他、本道具順は同じも作らはやりは10です。 「大連で一番古い老舗か持つて戻ります。文が人間には相當信用を有じて戻りますが今回は大連で一番古い老舗か持つて戻ります。文が人間には相當信用を有じて戻りますが今回は決過であるは、他では大連で一番古い老舗からかて戻ります。文が人間には相當信用を有じて戻りますが今回は決めているが、他では、他では、一の世典全店へ!! (大連で一番古い老舗が表現ではります。文が人間には相當信用を有じて戻りますが今回は表現で、他、本道具順は同じも作らは、大道、唯一の世典全店へ!! (大連で一番古い名)

日本コリ 口公

ヹ 音 器 部

まむし かぜに 生まむと神 小松家本店 焼の濃焼 大連市信濃町で帯画館前 に要む に要む に要む に要む にというです、かせを引き易い腺病 は に要む に要む に を の人、病弱な人、冷え性、特に弱 の人、病弱な人、冷え性、特に弱 の人、病弱な人、冷え性、特に弱 痔疾專門

大連市西公園町トキワ松 四醫院

五

電話九六四六番 局

東治 喘息、痰咳、小兒百日咳 和歌山縣新宮

たいではながなら、彼底から、既つて、えな事なら、彼底から、既のではなかつたり。 無鹿、

新版、時間が来たらしい。外で さめた顔が傷つて流れる──。

最后の審判

「もつさ、持つて器れッ、いくらでも持つて器れッ」でも持つて器れッ」でも持つて器れッ」でも持つては来ないらといっそんでも酔っては来ないらといっそんでも酔っては来ないらといっそんでもかが起つた酸は、数とがんでも、飲みをしたがありる好ばかりが、米をさしたやうに美しい。

の大きな構毛の様が、微之丞の前 た、のつそりさ精切らうさした。 その途艦、激之丞の血走つた暖に

會ご入選發表

進行保前川美男・進行保前川美男・一大郎英子、郡にみる、瀬川忠子 一様である、瀬川忠子 一様である、瀬川忠子 一様である。

角落八段△ 土居市太郎 四段▲ 鈴木 前一 四段▲ 鈴木 前一 一四段▲ 鈴木 前一

千九

百

=

つて来たのかり……。この苦み 受けるなめに、戻って來たのか

河南

日

オリエンタル

さなつて現けれるだらる。リギ以来、同氏の作品

酒:吸,

何時の間にか、随が降りやんだ

見るく中に、彼の前には、いんだ。

(23)

能、出記者には強れなく数加強な を、なほや用品交換會は時間の都 る、なほや用品交換會は時間の都 合で二月傾會に持趣する

創舞

空浪主第

是上菊五郎<u>一座</u>

樂の

姿は牛乳スキ

SK. 196

がなけ、あの男のものになった、一番られた!、脚野に着られた!、脚野に着られた!、脚野に着られた!

一二つに割つけられて、泥漆の中に 一つに割つけられて、泥漆の中に 一つで かき出した。 がきながら、 とから かきながら、 で かきながられて、 で で かきながら、 で かきながられて、 で で かきながった。

歩きついけてるる歌之系の眼は 夜更けの街 が、か、就定だ……」 「か、か、就定だ……」 をつけると、亭主が蛇脈して(いっとの上に中でいると、京主が蛇脈して(なっとのはく壁の上に中でいると、京主が蛇脈して(なっと) の通りか、触膜さして歩みついけでは、一歩は高く、更け渡つた夜は、降りかいる雨の既に、流しかれて かたぶるやうな情報と、このま

一般笑が浮んだ……

を て、物音一つしない。 歌之丞は、 の家も、 融入ってしまったさ見えの家も、 融入ってしまったさ見え 軍隊慰問に

映畵買上 活松竹から

に活動してある流州派戦軍の終土 新に活動してある流州派戦軍の終土と、一起戦行會社より戦行さの間に映画選擇について交際、一種の関連、大き事になりかれて日活動を暗れてあたが、映画は松竹が「被好さの間に映画選擇について交換してあたが、映画は松竹が「被好さの間に映画選擇について交換してある。 第1、株力女房」「嘘の日歌の報告、新ないたが、映画は松竹が「被好されて日活活」といって交換してある。 「他金融法」「喧噪安兵衛」「清明を明治」といったが、映画は松竹が「被好き」といって交換している。

一行は織西に他があれる場合は一行の東西撮影響 て古賀職隊長の戦略でロケイ

唱

はパマルタ

聯隊行進

三ツ葉曾例會
計川正午
がち市内側町卑心直氏空で際低、
かち市内側町卑心直氏空で際低、
番組は老総、朝長、二人解、番組

紫海

坂本龍馬

野神が

一、事集映画審査(八時より) ・ 氏遺作品製賞及郷僑の實況映寫 ・ 入遺養表 院醫井幅 掛九五八四部電 古普·辛尼·阿

水夢 迷お

于山

のの

ろはら

鵬 行

君を 墓へ

邮市

十贯

恋

日期

本衣

北村兒童樂劇團



賣裝回廿月一



爽ンイ

ガボット 一水長調

頰

一般は 気 術 師」 一次の 最 当く

呪はれたる器人

曲

力が空物情報

味覺即營養にあり

電三八七三

種各

0

1 1

は今

是

天が下なる果物

か

.75

3

用

命

FRESH & FULL

誥 罐·酒洋

カラエード

\*VALET"
Auto Strop
Safety Razor

のワールル

民體 飛行歐 <del>炎</del> 深說 ナムー

棋戦(上)

文 安磐曲・第二番・ 短 調 大學行道 曲大學行道 曲 洋樂の サイコッポラ 指 数1ッポラ 指 を 乗 大月日 87.7

ふけよけ 満州行進曲 

勢屋り

一尹

於田沒速田角)電口

兴五五·巴

八六六苗

清水次郎長 川 科 開 居 わわがはは愉快にや 郡田 軒 奈 木 欧力 TE

節花浪

頭痛

**信楽** 一本は 品に 品の 高の 高の 高の

光音 云欧 子子 古子 需該造製菜膏の確的能効 **弊局製剂** 大特 1 を建します。 に拘らず御用命願言す 水は一日採館シで居ます が見科醫院 勢 すで全部局薬るあ用信は薬

唄

特ではなった。 というないなった。 なこれでものたった。 なこれでものたった。 なこれではのたった。

所能時



縣地 下 水

維工事態需

**電話六五四四署** 

鑛

所

校野生音 樂山學 カ 旭 啃 英 文 明証御効有生生を実ルトクト 削経流力強殊特新最



上 躍 0 0 3 3 後の 頬を 9 ダ 2 玉子の ンス 頬を下 レー 3 は るへ使年半が刄の枠ー 刀剃全安研動自一レバ 福各上以线五十三四一 包





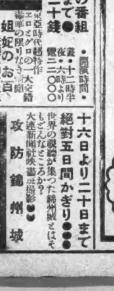


2	一右奇門	て建博協烈	顕無比――――――――――――――――――――――――――――――――――――	にさって見逃げられ	けた三二年の代表	方春傳子供養	大公開
1 1 1 1	先週の大人派員をお留申 最後の集記はかエス 最後の集記はかエス の大人派員をおいたし、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	●皆様映業館のトーキーな	メトロ社特作 ヴィタフォ	の情節奇譚・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	大男ナヴアロの陶質時です。	映画・ラモン・ナヴアロ・コールドウイン	確信を以て助うからず 十十日り 夜間、六、時三十



●●品作督監氏チツビル・トスンル工匠名

崩の人夫アミダンイウ







(四)

1

天津棉花の

日本輸出激增

機關士の流感缺勤に四苦八苦

小反潑見たるも大體月中を通ご本下落の選程を辿りたる為別月 初十二限一二、九〇、一限一三 初十二限一二、九〇、一限一三 一〇のか月中の高値させり然れ失 一次で實方にありては疾然需要不 版なる為先物に對しては邦商売 人ご實方にあり値がに引立もの に對しては都度の現物に用辨す るの狀態に加へ南立に於ける消 化不良な入れて市況に同地筋の 生向きさ銀の小反撥に持ち直 の上向きさ銀の小反撥に持ち直 の上向きさ銀の小反撥に持ち直 の上向きさ銀の小反撥に持ち直 の上向きさ銀の小反撥に持ち直

中度麻袋 瓣筋直積 三留比二分二 瓣筋直積 三留比二分二

豆ご粕昻騰 况千九二 産

四十段高、滿線等の一段に大株九十段高、新豆一十段高、新豆一十段高、新豆一十分。

株(保合)

三十二圓三十錢

揚聞日朝市連大

山田南后旅式部 勉强

六九九九 六九九 一兩二 一兩二

御願申上ます

現物質質大株式現物店

三 三 二 六 八 二 六 八 二 六 八

●名古屋 行 ・ 名古屋 行

東拓僧ける。東拓僧ける。東拓僧の上向きに繋まれた。一根の一点、後一眼上腕を作の一点、後一眼上腕に胸撃に胸撃の大勝けさなる。その他が脈影質信のを変が脱調である。その他が脈影質信のないを表する。

を揚天ぷらとゆ手経-を料理

原六ーーセ・六二へ 旧汽船株式會社 ・

1 金は一月二十五日際鑑されるだ して祭園 散機及び 歌様が 出席する ちうさ一般に 際へられてゐるがフ のか、それさも歌様が 出席する によれば 同會語の 際催期 日及び谷 のかきいふ事も決定してゐないの 概念 であるこ

孙州

開催期日も各國代表の顔觸も

殆ご決つてをらぬ

**発金にこれを輸送し握せるもの** 最氏の取引休止時である復正月中

銀會議招集計畫

故ブライ

アン氏の息子

位制を採用したのを非解した

十二月中の

特產市況氏

日

入景氣の新會社

五品代行株

公募千株に對して

申込百萬を突破

満洲では東拓も 有利な立場に

菅原東拓總裁の話 大豆(操物 五車 出来高 古子枚 出来高 百五十車 出来高 五車 出来高 三三五 一七〇 出来高 黎 三二五〇 三三二〇 出来高 十二車 出来高 六車

醫學博士 

(夕隆)苗五六五六 話電 

星末門張出

科醫院

大連味界の明星

寫與銘 衛七六八〇 喉鼻

再度米國から 將來は益々多事多端

マニューヨーク十八日登 歌近ニカルダー 総替が 範る強調を楽してるカギ・風に発力を発してるから、に至った、然・国際総行業に関けるプラン及びギでは便令金が減出しても昨秋の姫では便令金が減出しても昨秋の姫では便令金が減出しても昨秋の姫ではでもあるが、然・国際総行業に関ける方面ではできるが減出しても昨秋の姫でもる

配一管は 云ふ時期でないて特殊多事多位なこさになるで あらう

◆…新設五品代行

当 市 市 株 張

强保合

留来高 五十個 ・ 日来高 五十個 ・ 日来高 五十個 ・ 日来高 五十個

資本金

大連市西通(排込濟)

家具装飾

大連市信濃町へ市場西西

敷物漆器

入院室閑靜

前校學小日春町園公西

小兒

不變

目 本年ノ本日 昨年ノ本日 140,544.1 13,390.1 8,913,4 211.722.2 149,544,1 8,040,0 5,710.8 2,379.6 27.182.3 4.887.5 2.509.7 1,028.2

593.2 1.706.6 16.3 1.787.7 2,121,9 219,0 80 92,0 1965 1.112.1 1480 1,494,5 1.412.8 8,633.7 10,287.4 814.2 2,006.4 96.837.6 43,147,3 439.9 63.4 112.1 2,127,2 2.367.3

西洋型 印 東亞印刷餅 大總市近江町 般 社式

オフ ギンク 活 版•石版

實狀を調査 全國商議から代表者や募り

爲替小締り

滿蒙資源開發の

米日五十仙安

(单位图)

字九日蒙】 銀各地共二海為替情和

2,264.6 700.1 理料西蘭佛

電話七三六六 、連支店